

平成 22 年度 河川レンジャー活動経過報告

平成 23 年 2 月

伏見管内河川レンジャー

坂本 清

中川 雄介

望月 斐加

桂川管内河川レンジャー

中村 桂子

田子 稔

柳沼 宣裕

山崎(京都府域)管内河川レンジャー

仁枝 洋

目次(詳細)

は前期分で報告済

○坂本レンジャー活動実施報告

1. 坂本 R・ツバメのねぐら入り ・平成 22 年 7 月 31 日(土)..... 1
2. 坂本 R・笠取川自然観察 ・平成 22 年 9 月 11 日(土)..... 4
3. 坂本 R・三川合流の野鳥観察 ・平成 23 年 2 月 5 日(土)..... 7

○中川雄レンジャー活動実施報告

4. 中川 R・ジュニア河川レンジャー ・平成 22 年 6 月～23 年 1 月..... 9

○望月レンジャー活動実施報告

5. 望月 R・濠川クリーンアップ(雨天中止) ・平成 22 年 6 月 26 日(土).....13
6. 望月 R・宇治川派流クリーンアップ活動 ・平成 22 年 10 月 17 日(日).....14
7. 望月 R・濠川クリーンアップ ・平成 22 年 11 月 27 日(土).....16

○中村レンジャー活動実施報告

8. 中村 R・宇多野の自然と水辺の学習 ・平成 22 年 4 月 26 日(水).....18
9. 中村 R・ツバメの巣の観察 ・平成 22 年 4 月 27 日(木).....20
10. 中村 R・鴨川の生きもの調べ ・平成 22 年 5 月 19 日(水).....22
11. 中村 R・ツバメの集団罫(ねぐら)と渡り ・平成 22 年 7 月 22 日(木).....24
12. 中村 R・三宝寺川源流探検 ・平成 22 年 11 月 16 日(火).....27
13. 中村 R・桂川講座 ・平成 22 年 12 月 7 日(火).....29
14. 中村 R・三宝寺川生きものさがし ・平成 22 年 12 月 8 日(水).....31
15. 中村 R・嵐山小観察会 ・平成 22 年 12 月 27 日(月).....33
16. 中村 R・嵐山東小観察会 ・平成 23 年 1 月 18 日(火).....35
17. 中村 R・淀川たんけん ・平成 23 年 1 月 19 日(水).....37
18. 中村 R・西京極小観察会 ・平成 23 年 1 月 22 日(土).....39
19. 中村 R・宇多野小出前講座 ・平成 23 年 1 月 25 日(火).....41

○田子レンジャー活動実施報告

20. 田子 R・春の桂川自然観察 ・平成 22 年 5 月 5 日(水・祝).....43
21. 田子 R・桂川クリーン作戦関連講演 ・平成 22 年 6 月 20 日(日).....45
22. 田子 R・秋の桂川自然観察 ・平成 22 年 10 月 17 日(日).....47
23. 田子 R・自然観察と美化啓発・嵐山小 ・平成 22 年 10 月 20 日(水).....49
24. 田子 R・冬の自然観察観察 ・平成 22 年 12 月 23 日(日).....51

25.	田子 R・クリーン作戦説明会	・平成 23 年 1 月 22 日(土).....	54
-----	----------------	---------------------------	----

○柳沼レンジャー活動実施報告

26.	柳沼 R・かわみ	・平成 22 年 4 月～9 月.....	56
27.	柳沼 R・長岡京市防災訓練展示・大道芸	・平成 22 年 9 月 5 日(日).....	61
28.	柳沼 R・長岡第九小 総合学習防災偏	・平成 22 年 11 月 12 日(金).....	64
29.	柳沼 R・長岡第九小 防災野外学習	・平成 22 年 11 月 18 日(木).....	67
30.	柳沼 R・長岡第九小 防災表現学習	・平成 22 年 11 月 24 日(水).....	70
31.	柳沼 R・環境フェア展示	・平成 22 年 11 月 28 日(日).....	71
32.	柳沼 R・長岡第九小 防災発表会	・平成 22 年 12 月 6 日(月).....	75
33.	柳沼 R・防災大道芸	・平成 22 年 12 月 12 日(日).....	78

○仁枝レンジャー活動実施報告

34.	仁枝 R・リバーウォーク桂川	・平成 22 年 4 月 25 日(日).....	79
35.	仁枝 R・鱧海道まつり防災体験	・平成 22 年 5 月 16 日(日).....	81
36.	仁枝 R・納所防災体験	・平成 22 年 5 月 22 日(土).....	84
37.	仁枝 R・水害特別講座	・平成 22 年 7 月 4 日(日).....	87
38.	仁枝 R・リバー・ウォーク横大路	・平成 22 年 10 月 11 日(日).....	89
39.	仁枝 R・リバー・ウォーク淀	・平成 22 年 10 月 17 日(日).....	92

○河川レンジャー研修実施報告

40.	酒井・辻川・上田 R・河川行政研修会	・平成 22 年 7 月 12 日(月).....	95
41.	仁枝・谷岡・中島 R・外来生物研修会	・平成 22 年 9 月 7 日(火).....	97

○京都環境フェスティバル報告

42.	河川 R・京都環境フェスティバル	・平成 22 年 12 月 11・12 日.....	100
-----	------------------	----------------------------	-----

1. 坂本 R・ツバメのねぐら入り

・平成 22 年 7 月 31 日(土)

1.1 実施状況

<テーマ:第1回宇治川自然観察会>

テーマ	ツバメのねぐら入り観察会		
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー 坂本レンジャー	
開催日時	平成 22 年 7 月 31 日(土) 16:00~19:30		
参加人数	参加総数	103 名	
	一般参加者 河川レンジャー 協力スタッフ 伏見出張所 運営事務局	87 名 1 名 13 名 1 名 1 名	NPO 法人シニア自然大学校「京とおうみ自然文化クラブ」
講師	宮 玲子氏 辻 勝彦氏 塚田元朗氏	NPO 法人シニア自然大学校 野鳥科 前 NPO 法人シニア自然大学校 野鳥科 同上	
スケジュール	<p>16:00 観月橋駅にスタッフ集合・参加者受付開始</p> <p>16:10 第一陣の参加者で河川敷に移動</p> <p>16:45 工作現場到着</p> <p>17:00 向島南小学校からの参加者も合流</p> <p>17:05 坂本レンジャーによる開会の挨拶</p> <p>17:15 協力スタッフによるツバメ講座</p> <p>17:45 小鳥のブローチ工作開始</p> <p>18:10 工作終了</p> <p>坂本レンジャーからツバメのねぐら観察の際の注意事項説明</p> <p>18:15 ヨシ原の広がる観察場所へ移動</p> <p>18:20 フィールドスコープで野鳥観察 ツバメ観察</p> <p>19:25 観察終了 坂本レンジャーの閉会の挨拶</p> <p>19:30 解散</p>		
実施場所	<p>The map shows the event route starting at 集合場所:京阪観月橋駅 (Kitanabe Station), moving to 観月橋 (Kitsunobashi), then to 中書島 (Nakayajima), and finally to the 観察場所 (Observation Site) near 宇治川公園 (Uji River Park). A quiz/workshop site (クイズ・工作実施場所) is also marked near the observation site. The map includes landmarks like 伏見公園 (Fushimi Park), 向島南小学校 (Mukojima Minami Elementary School), and 宇治川 (Uji River).</p>		

1.2 事前活動

各種資料	観察会資料(レンジャー作成) アンケートのお願い
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 淀川河川事務所伏見出張所 チラシの印刷 参加者の受付 必要物資の準備 ○ 伏見区役所 区民新聞に観察会募集記事の掲載
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施計画の立案 実施内容、実施日の決定 支援スタッフとの打ち合わせ ○ 参加の案内 近隣の小学校へ、チラシ配布の依頼 伏見区役所へ新聞への記事掲載依頼 京都新聞などへの募集記事掲載依頼 ○ 関係機関との調整 伏見出張所、中央流域センターとの事前打ち合わせ ○ 必要物品の準備 関係機関へ、貸与依頼 ○ 活動の実施 司会、進行 開会、閉会の挨拶 参加者との交流 関係者との打ち合わせや調整

1.3 活動状況



受付の様子
参加者には目印に黄色いリボンを配布



協カスタッフによるクイズを交えたツバメ講座



小鳥のブローチ作り工作作業風景



ツバメのねぐらになっているヨシ原にて野鳥観察

1.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・ 素敵な経験をさせて頂いて感謝です。ツバメやその他の生物の不思議な本能を目のあたりにして感激しました。今年が一番子があの群れの中にいると聞き、南に帰るまでの無事をいのりしたいと思います。・ はじめて参加させていただきました。ツバメのことはよく知っているつもりでしたが、いろいろと勉強になったこともあって楽しい観察会でした。工作も童心にかえって……。それにしても、準備その他たいへんご苦労様です。有難うございました。・ 自然工作のブローチも簡単に出来て楽しかったし、ツバメの観察会ではたくさんのツバメがねどこに帰ってくるのが見れて、自然の雄大さにおどろかされました。子供にも身近に自然にふれることができよかったです。・ 春から初夏にかけて商店街の軒下に巣作りして子育てするツバメを見るのが毎年私の楽しみになっているのですが、巣立った後どうしているのだろうと、気になっていました。今日の観察会で疑問が晴れました。わが家から歩いて30分のところに、こんな野鳥の大規模なねぐらがあるなんて……。 家族の者を誘ってまた見に行きます。自然工作、簡単でかわいくてよかったです。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・ 参加者の募集が大変なのは相変わらずである。今回は「市民新聞」を見てという人が多かった。しかし、毎回多かった「京都新聞」を見てという人はほとんどいなかった。いつものことながら、観察会前日までハラハラ、ドキドキである。

2. 坂本 R・笠取川自然観察

・平成 22 年 9 月 11 日(土)

2.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	第 2 回宇治川自然観察会		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー坂本レンジャー	
開催日時	平成 22 年 9 月 11 日 (土) 10:00~15:00		
参加人数	参加総数	63 名	
	一般参加者	42 名	大人 21 名、子ども 21 名
	河川レンジャー	1 名	坂本レンジャー
	講師	3 名	シニア自然大学水生生物観察指導員
	スタッフ	15 名	京とおうみ自然文化クラブ
	出張所	1 名	山口係長
	運営事務局	1 名	
講 師	山本 尚義氏	(シニア自然大学水生生物観察指導員)	
	高橋 剛 氏	(シニア自然大学水生生物観察指導員)	
	石田 由利子氏	(シニア自然大学水生生物観察指導員)	
スケジュール	9:51	京阪宇治駅での受付のようす	
	10:17	笠取川現地に到着	
	10:18	会場全景	
	10:25	スタッフ集合	
	10:44	開会のあいさつと生物の講師紹介	
	11:02	自然観察のようす 1	
	11:04	自然観察のようす 2	
	11:16	自然観察のようす 3	
	11:43	自然観察のようす 4	
	11:47	水槽観察	
	12:14	講師による生きもの合わせ	
	13:10	生きもののリリース	
	13:27	集合写真	
	13:47	林間の工作会場	
	14:00	木工のブローチ製作	
	14:30	レンジャー閉会のあいさつ	
実施場所			

2.2 事前活動

各種資料	自然観察会資料(レンジャー作成) 水生生物同定用下敷き
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 淀川河川事務所伏見出張所 チラシの印刷 手紙の配布 参加者の受付 貸与物品等の手配、準備 ○ シニア自然大学校水生生物科 水生生物の同定や解説 サンプルの採集 ○ 京とおおみ自然文化クラブ スタッフとして支援
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施計画の立案 実施日、実施内容の決定 スタッフとの打ち合わせ ○ 参加の案内 前回参加者への手紙 京と新聞、洛南タイムスへの記事掲載依頼 ○ 関係機関との調整 伏見出張所、中央流域センターとの事前打ち合わせ ○ 活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会、進行 参加者との交流 関係者との打ち合わせおよび調整

2.3 活動状況



11:04 自然観察のようす



11:47 水槽観察



13:10 生きもののリリース



13:47 林間のワークショップ

2.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">○ 自然豊かな中で、家族でとても楽しませていただきました。みんなで力を合わせると、たくさんの水の生き物が集められ、そのうえ先生にいろいろなことを教わり大満足です。これからも、ずっと続けていただきたいです。有難うございました。○ 毎回とても楽しく参加させていただいております。子ども達も楽しみにしています。今後も、宇治川について楽しく学び、守っていくことができればいいなと思います。○ カニがいっぱい取れてよかった。○ 工作が楽しかった。○ 浅くて、狭い川なのにたくさんの生き物がいたのにはびっくりしました。親の方が夢中になってしまいました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">○ 水のきれいさを証明する多くの水生生物を見ることができ、笠取川の水の美しさが今回も実証されてよかった。今後もこの美しさを維持していくには何ができるか考えていきたい。○ 毎回、たくさんの生き物を見ることができるのは、観察場所が常はヨシやその他の植物に覆われていることがいいのだろうと思う。しかし、観察会の数日前に支援のスタッフの人たち（10人ほど）と草刈りをするのがかなり大変である。刈り払い機数台に鎌や熊手を持ち込んで、半日がかりである。支援の方々に感謝している。

3. 坂本 R・三川合流の野鳥観察

・平成 23 年 2 月 5 日(土)

3.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	第 3 回宇治川自然観察会		
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー坂本レンジャー	
開催日時	平成 23 年 2 月 5 日(土)10:00~15:00		
参加人数	参加総数	34 名	
	一般参加者	20 名	大人 18 名、子ども 1 名
	河川レンジャー	1 名	
	講師	3 名	
	スタッフ	9 名	京と近江の自然クラブ
	伏見出張所 運営事務局	1 名 1 名	山口係長
講師	宮 玲子氏 辻 勝彦氏 塚田元朗氏	NPO 法人シニア自然大学校 野鳥科 前 NPO 法人シニア自然大学校 野鳥科 同上	
スケジュール	10:18 10:19 10:45 11:08 11:55 13:37 14:47 14:50	レンジャー開会とスタッフ紹介 本活動の主旨と鳥パネルの紹介 観察開始 講師による冬鳥の生態解説 出現した冬鳥シメの観察 みんなで鳥(確認種)合わせ 今回割愛した小鳥工作用の材料をおみやげに配布 鳥の出現種数当てクイズの正解者へごほうび	
実施場所 八幡市駅～三川合流			

3.2 事前活動

各種資料	下敷きをコピーしてラミネート 確認種チェックリスト
関係機関からの 支援内容	下敷きの提供
レンジャーの活 動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当日出現種(33種) カルガモ、マガモ、コガモ、オカヨシガモ、キンクロハジロ、ヨシガモ、カワアイサ、カワウ、ダイサギ、カワセミ、ヒドリガモ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、トビ、ツグミ、ホオジロ、アオジ、カシラダカ、シジュウカラ、コゲラ、メジロ、カワラヒワ、ベニマシコ、ハクセキレイ、ビンズイ、ジョウビタキ、シメ、エナガ、ケリ、ウグイス ・次の写真は左上からカシラダカ、カワアイサ(撮影事務局)

3.3 活動状況



10:45 観察開始



11:08 講師による冬鳥の生態解説



14:47 今回割愛した小鳥工作用の材料をおみやげに配布



14:50 鳥の出現種数当てクイズの正解者へごほうび

3.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前から、いつか一度行ってみたいと思っていたのですが、今回参加させていただきました。思っていた以上にスタッフの方々の丁寧でやさしい説明に多くを知る事が出来楽しく有意義な日となりました。次回も是非参加させていただきたいと思っております。場所の背割り堤も初めてのところで満足でした。(73歳、女) ・ 久しぶりに探鳥に参加させていただきました。楽しかったです。思った以上に鳥の種類が多かったのでびっくりしました。説明も、とてもいねいにしていただき良くわかりました。また、参加させていただきたいと思います。(68歳、女) ・ たくさんの水鳥がいるのにびっくりしました。(65歳、女) ・ 鳥のきれいさにびっくりしました。ゆっくり観察できて良かったです。また、参加したいです。(30代、女)
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察場所と工事の関係が把握しにくい。 <p>今年は特に寒かったのとインフルエンザ流行の影響があったのでしょうか、子どもの参加が少なかった。冬鳥の観察は今の季節が一番いいので、参加者をどうして多くするのか工夫したい。</p>

4. 中川 R・ジュニア河川レンジャー

・平成 22 年 6 月～23 年 1 月

4.1 実施状況

<テーマ:京都伏見ジュニア河川レンジャー>

テーマ	京都伏見ジュニア河川レンジャー(活動①②)				
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー		中川レンジャー	
参加小学校	深草小	向島南小	桃山東小	伏見住吉小	桃山小
日時	6月9日(水) 9:00～12:00	6月16日(水) 9:00～12:00	7月7日(水) 9:00～12:00	7月8日(水) 9:00～12:00	10月21日(木) 9:00～12:00
参加人数	139名 4年生児童 128名 教職員 6名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	77名 4年生児童 68名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	68名 4年生児童 60名 教職員 3名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	90名 4年生児童 80名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 4名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	125名 4年生児童 114名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 5名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名
参加小学校	砂川小	桃山南小			
日時	10月22日(金) 9:00～12:00	11月16日(火) 9:00～12:00			
参加人数	89名 4年生児童 79名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 4名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	76名 4年生児童 68名 教職員 3名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名			
スケジュール	(活動①、②) 9:00 十石舟乗船場集合 準備、協力スタッフと打合せ ↓ 十石舟乗船、川の観察 ↓ オリジナル作製した水辺散策資料による水辺クイズ実施 (京都教育大学学生と連携) ↓ 宇治川展望スポット見学 三栖閣資料館見学 伏見みなと広場 ↓ 濠川・宇治川派流の生物観察・清掃活動 ↓ 12:00 解散				

活動場所	<p>(活動①、②)</p> 
------	---

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校への案内用紙 (A4/4 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主旨・活動内容所要時間等の説明・これまでの経緯、参加実績 ・ 参加申込み用紙、希望日時の回答用紙 ● 活動レポート用紙 (A3/2 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習①②の感想 (学習の充実と今後の活動内容改良のため) ・ 生物植物観察記入・保護者とのコミュニケーション枠 ● 京都教育大学と連携し制作した資料 (A4/8 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 位置関係を把握する活動範囲の地図・学習充実のための河川各ポイントのクイズと説明付き解答・三栖園資料館記念スタンプ枠・十石舟、三栖園門の歴史、役割を説明したマンガ・河川周辺生物植物の説明
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 淀川河川事務所 ○ 備品 (のぼり、ビブス) の貸与
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施計画の立案 <ul style="list-style-type: none"> ○ 実施日、実施場所の検討 ○ 参加の案内 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各小学校への訪問による広報 ○ 新規活動資料の制作 (探検学習マップ・学習③教材) <ul style="list-style-type: none"> ○ 企画 ○ 京都教育大学との打ち合わせ ○ 制作 ○ 必要物品の準備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各関係機関への備品、資料の貸与、提供依頼 ○ 関係機関との調整 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各関係機関へのスタッフ協力の調整 ○ 各小学校との調整 ○ 京都教育大学との調整 ○ 活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ 開会、閉会の挨拶 ○ 司会進行 ○ 説明 ○ 参加者との交流

4.2 活動状況

◆6/9 深草小・



三栖閘門資料館模型を見て閘門のしくみを学ぶ

◆7/7 桃山東小



十石舟の乗船まで、熱心に配布資料に目を通す

◆10/21 桃山小



みなと広場でレンジャーと勉強会

◆11/16 桃山南小



十石舟の乗船を終えて伏見みなと広場に到着

◆6/16 桃山南小



十石舟乗船

◆7/8 伏見住吉小



協力スタッフによる児童用ビブスの準備

◆10/22 砂川小



参加児童集合

4.3 意見・課題

<p>参加者からの意見 レンジャーの感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人もちょっと変わるのでは ・川にゴミを捨ててはいけないということに気づくと思う ・いつも河川やその周りをきれいにされていて気持ちがいいです ・河川レンジャーの方々に負けないようにゴミを見つけたら拾って、町を少しでも美しくしていきたい ・河川レンジャーのパンフレットですが、いまひとつ内容がつかみ難く、何かしなければという気持ちになれませんでした ・他府県出身ですが、TVで紹介されている伏見のまちとは違いがっかりしてしまいました ・小さなゴミを拾うことから家族でがんばっていきたい ・このような活動を通じることでモラルの欠如した人間にならないと思います ・普段は川に行かないのですが、子供が活動を参加させていただいたのをきっかけに、休日散歩がてらに川を見に行こうと思います ・これからは、川だけでなく、街中にゴミがないようになればいいと思います ・大人もよい見本になれるよう頑張っていきたい <p>命の源である水、その水の町伏見を将来を担う子供たちが汗を流し清掃している姿はとても頼もしく感じました</p> <p>ゴミを捨てるのは、町のことや川の意味などを知らない人だと思う</p> <p>みんなで町のことをよく知っていけば綺麗な町になれるのではないかな</p> <p>この町の歴史なども小さいうちから教えていって町ぐるみで大事にしたい</p> <p>子供たちが頑張っている姿を見たらみんなも協力してくれると思います</p> <p>我が家では3人の子供たちが参加させてもらいましたが、活動のあとゴミの処理に気をつけようとする気持ちが芽生えたようです</p> <p>清掃活動を含んだツアーなどがあれば、もっと河川や町がきれいになるのでは</p> <p>子供も川が身近に感じるようになりました</p> <p>大人の出すタバコのゴミが落ちていたゴミの一位に選ばれたことが残念です</p> <p>犬を飼っている人のマナーが大変悪いように思います</p> <p>昔のような綺麗な川が戻ればいいです活動レポート集計中</p>
<p>今後の課題</p>	<p>■【その他関連の活動】</p> <p>伏見の川の勉強会実施 伏見南浜小学校よりの依頼で企画実施した。</p> <p>○日時：平成22年8月30日・31日</p> <p>○場所：月桂冠酒蔵オフィス ミーティングルーム</p> <p>○参加者数：8月30日-21名・31日22名</p> <p>○内容：濠川・宇治川派流・宇治川において小学生が考える疑問、質問等に返答をしていくかたちでの勉強会</p> <p>●今後の課題 本活動を通じ上記のような関連活動や他校、他世代とのつながりをつくり広がりをもたせ、地域に根付く活動にしていきたい。</p>

5. 望月 R・濠川クリーンアップ(雨天中止) ・平成 22 年 6 月 26 日(土)

5.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	濠川クリーンアップキャンペーン		
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー 望月レンジャー	
開催日時	平成 22 年 6 月 26 日 (土) 10:00~12:00		
参加人数(予定)	参加総数	名	
	児童	35 名	伏見南浜小学校児童
	一般参加者	50 名	一般参加者
	河川レンジャー	2 名	望月レンジャー、中川レンジャー
	運営事務局	1 名	
スケジュール(予定)	9:50	集合(伏見南浜小学校)、軍手・火ばさみ、ゴミ袋の配布	
	10:00	望月レンジャーの挨拶と活動内容の説明 宇治川派流へ移動	
	10:10	宇治川派流到着 左右岸の高水敷で清掃活動開始 宇治川派流～濠川から伏見港公園	
	11:50	清掃終了望月レンジャーの解散、挨拶、片づけ	
	12:00	終了予定	
実施場所(予定)			

5.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	○京都市環境政策局 伏見まち美化事務所 必要備品の貸与 ゴミ袋の提供 (集積ゴミの回収)
レンジャーの活動内容	○実施計画の立案: 実施日・実施内容の検討 現地見 ○参加の案内: チラシの配布 (配布先…伏見南浜小学校、ボランティア団体) ○必要物品の準備: 関係機関、協力者への依頼・調整 ○関係機関との調整: スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ ○活動の実施: 開会、閉会の挨拶 司会進行 移動時の安全確認 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ

5.3 意見・課題

参加者からの意見	○「開催してほしかった」
今後の課題	○雨天時の延期日を設けていないので、活動が天気に左右されてしまう ○今回中止のため、秋の清掃活動を 2 回開催 (10 月 17 日、11 月 27 日) 予定

6. 望月 R・宇治川派流クリーンアップ活動 ・平成 22 年 10 月 17 日(日)

6.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	宇治川派流クリーンアップ活動		
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー 望月レンジャー	
開催日時	平成 22 年 10 月 17 日(日) 9:00~11:30		
参加人数	参加総数	82 名	
	一般参加者	70 名	地域ボランティア団体
	河川レンジャー	1 名	望月レンジャー
	スタッフ	10 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	伏見港公園にスタッフ集合 軍手・火バサミ・ゴミ袋など清掃用具準備	
	10:00	清掃活動開始 (濠川~宇治川派流の両岸)	
	11:00	伏見観光協会前にて終了	
	11:30	片付け	
実施場所			

6.2 事前活動

各種資料	なし
関係機関からの支援内容	○京都市環境局 伏見まち美化事務所 必要備品の貸与 ゴミ袋の提供 (集積ゴミの回収)
レンジャーの活動内容	○実施計画の立案: 実施日・実施内容の検討 現地見 ○参加の案内: チラシの配布 配布先…ボランティア団体 ○必要物品の準備: 関係機関、協力者への依頼・調査 ○関係機関との調整: スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ ○活動の実施: 開会、閉会の挨拶 司会進行 移動時の安全確認 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ

6.3 活動状況



伏見港公園にて参加者へ清掃用具の配布



伏見港公園から清掃開始



右岸の斜面付近もくまなく清掃



清掃終了後、ゴミの収集作業

6.4 意見・課題

参加者からの意見	○年々ゴミが減ってきている
今後の課題	○様々な立場の方をまとめるコーディネーターの力をつけたい

7. 望月 R・濠川クリーンアップ

・平成 22 年 11 月 27 日(土)

7.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	濠川クリーンアップキャンペーン		
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー 望月レンジャー	
開催日時	平成 22 年 11 月 27 日 (土) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	63 名	
	伏見南浜小学校児童、保護者 河川レンジャー 運営事務局	60 名 2 名 1 名	望月、中川レンジャー
スケジュール	9:45 9:50 10:00 11:30 12:00	準備 集合・望月レンジャーの挨拶 清掃開始 清掃終了 望月レンジャーの解散挨拶 後片づけ 終了	
実施場所			

7.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○淀川河川事務所 必要備品(のぼり、ビブス)の貸与 ○京都市環境政策局 伏見まち美化事務所 必要備品(火バサミ、軍手、ゴミ袋)の貸与・提供 集積ゴミの回収・処理
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画の立案: 実施日・実施内容の検討 現地見 ○参加の案内: チラシの配布 配布先…ボランティア団体 ○必要物品の準備: 関係機関、協力者への依頼・調査 ○関係機関との調整: スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ ○活動の実施: 開会、閉会の挨拶 司会進行 移動時の安全確認 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ

7.3 活動状況



望月レンジャーと伏見南浜地域の方々の出発式



活動に参加された少年野球チームの方々



清掃活動の様子



回収されたゴミ

7.4 意見・課題

参加者からの意見	○紅葉の季節と重なり、地域の景観を楽しみながら清掃活動を行うことが出来た。
今後の課題	○雨天時の対策 ○怪我の対応

8. 中村 R・宇多野の自然と水辺の学習

・平成 22 年 4 月 26 日(水)

8.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	宇多野の自然と水辺の学習(野鳥と仲良くなろう!)		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー 中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 4 月 26 日 (水) 8:50~10:50		
参加人数	参加総数	73 名	
	宇多野小学校 3 年生児童	67 名	
	教師	3 名	
	河川レンジャー	1 名	
	講師	1 名	
	運営事務局	1 名	
講師	植田氏	(野鳥の会)	
スケジュール	8:50	準備	
	9:15	集合・中村レンジャーの挨拶・学習開始 宇多野の環境学習	
	9:40	講師による鳥の話 鳥の羽や骨の観察	
	10:30	学習終了 後片づけ	
実施場所			

8.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>(当日活動)</p> <p>本日 9:00 に学校に集合 11:00 頃まで視聴覚教室で学習会</p> <p>内容:まだ知識のない3年生を対象に宇多野界限で観察できる野鳥について話。 準備した PPT には観察可能な水辺の野鳥の写真を入れ、野鳥と他の生き物との関わり、それらが人間にとってなぜ大切なのかについて話す。このような内容で1年間学習をしていく。 学習会の後、昨年の3年生が植えたウメモドキのプレートが完成したので、校門近くの木の傍に立てた。ウメモドキは新芽が美しく出ており、肥料を施しておいた。</p> <p>(協議内容報告)</p> <p>4/2 17:00 協議内容報告</p> <p>宇多野小学校教師:3年/米田京子、4年/林秀光、5年/長谷川敬、6年/土田 舞、中村レンジャーの5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野鳥の会事務所に集合(先生の異動に伴って学年担当も変わったということでご挨拶を頂いた。 ・3月17日に植えた3年生の記念樹(ウメモドキ)の実をジョウビタキが1つ残らず食べてしまった、と言う報告を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今年の総合学習のテーマは「宇多野の自然と水辺との関わり」 <p>3年生(68名):水辺の野鳥と仲良くなるろう! 4年生(68名):水辺の生き物たち(三宝寺川)、 5年生(74名):花背で広く「自然」について学ぶ(長期滞在) 宇多野とどこが違うのだろうか?など。 6年生(73名):ツバメの観察から学ぶこと。 以上に基づいて、今年もそれぞれ学年ごとに水辺に関わる学習会の実施が決まる。</p>

8.3 活動状況



宇多野の環境学習



講師による鳥の話・鳥の羽や骨の観察の説明

8.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	宇多野小学校では3年生から6年生の総合学習の一環を河川レンジャー中村が担うことになった。

9. 中村 R・ツバメの巣の観察

・平成 22 年 4 月 27 日(木)

9.1 実施状況

<テーマ：>ツバメの観察から学ぶこと

テーマ	宇多野のツバメの巣の観察		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー 中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 4 月 27 日 (木) 8 : 45 ~ 10 : 45		
参加人数	参加総数	80 名	
	宇多野小学校 6 年生児童	74 名	
	教師	3 名	
	河川レンジャー	1 名	
	運営スタッフ	1 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	8:40	準備	
	8:45	集合・中村レンジャーの挨拶・ツバメの巣の観察説明	
	9:10	3 班に分かれて、郊外へ移動・巣の観察 ツバメの巣の観察	
	10:00	ツバメのビデオにて学習	
	10:30	学習終了	
	10:40	後片づけ	
実施場所	 <p>The map shows the location of Utsunomiya Elementary School (宇多野小学校) and the observation area (観察地域) in Utsunomiya City. The school is marked with a yellow star and a yellow box. The observation area is marked with a red star and a red circle. The map includes various landmarks such as temples, schools, and residential areas.</p>		

9.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>9:00 :あいにくの雨の中を観察に出かける。校区内のツバメの巣の場所は予め子どもたちと調べてある。学校近くの巣を廻り状況を把握する。帰ってからダーウインのDVDでツバメの生態について学習する。</p> <p>11:00:終了</p> <p>28日、今後の調査に必要な校区地図と観察記録用紙を届けた。ツバメの巣の継続観察記録用紙を作成し先生に託す。また、大きな校区地図には巣の場所が記してあるが、児童が観察して感じたことなどを記録していくことにする。(ポストイット使用)</p>

9.3 活動状況



ツバメの巣の観察



ツバメのビデオにて学習

9.4 意見・課題


参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

10. 中村 R・鴨川の生きもの調べ

・平成 22 年 5 月 19 日(水)

10.1 実施状況

<テーマ:> 桂川自然観察会

テーマ	鴨川の生きもの調べ（京都市立終野小学校）		
担当	桂川出張所管内	中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 19 日（水） 14:00～16:00		
参加人数	参加総数	20 名	
	参加者	18 名	[終野小学校 野鳥委員会] 5～6 年生児童 16 名 教員 2 名
	河川レンジャー	1 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	14:00	集合	<ul style="list-style-type: none"> ・校長、担当教員に挨拶。 ・打合せ
	14:45	開始	
	14:50	パワーポイントを使って野鳥についてのお話	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校近くの鴨川や桂川でよく見ることの出来る野鳥 ・野鳥って？飼育（飼い鳥）との違い ・嘴や足など特徴による種類の違い ・季節によって見ることの出来る野鳥の違い（冬鳥、夏鳥、留鳥など） ・野鳥から見えてくる生態系のバランス 	
	15:35	終了	
	16:00	解散	
実施場所 鴨川(終野堰堤界)	 <p>The map shows the area around the end of the Kikyo River. A red circle highlights the location of the school, labeled '終野小' (Shunobu Elementary School). A red box with a black dot and text '■ 実施場所:京都市立 終野小学校' (Implementation location: Kyoto City Shunobu Elementary School) points to the school. Other landmarks include 'MKボウル 上賀茂' and 'ケアハウスアーバン フレッシュ終野'. The map also shows various streets and landmarks in the area, such as '上賀茂六段田町', '上賀茂北ノ原町', and '西賀茂中川上町'.</p>		

10.2 事前活動

各種資料	○「ミニミニ野鳥図鑑」(日本野鳥の会)
関係機関からの支援内容	○(財)日本野鳥の会 資料提供「ミニミニ野鳥図鑑」
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終野小学校野鳥委員会の5~6年生の児童16人。 ・ 鴨川の野鳥について調べているが、その他にも多くの野鳥が生息していることが判ってきた。(児童から説明を聞く) ・ それらの野鳥と人と河川との関わりや、1年間の調査の仕方等について話す。初めてなので、今回はとりあえず室内での授業とし、児童の話に耳を傾けたいと考えている。

10.3 活動状況



パワーポイントを使って野鳥のお話 季節による違い(冬鳥、夏鳥、留鳥など)



児童達と質疑応答

10.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

11. 中村 R・ツバメの集団罫(ねぐら)と渡り ・平成 22 年 7 月 22 日(木)

11.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	ツバメの集団罫(ねぐら)観察と渡りのメカニズム体験学習会		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー 中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 7 月 22 日 (木) 17:30~19:30		
参加人数	参加総数	67 名	
	宇多野小学校 6 年生児童	56 名	教師 5 名
教師・地域	5 名		
河川レンジャー	1 名		
講師	1 名		
運営スタッフ	3 名		
	運営事務局	1 名	
講師	須川 恒氏	(龍谷大学非常勤講師)	
スケジュール	17:30	ツバメの罫入り学習開始	
	17:40	須川先生によるツバメの観察説明	
	18:10	かすみ網にてツバメの調査説明	
	18:45	ツバメの罫入りの観察	
	19:15	学習のまとめ	
	19:30	学習終了	
実施場所			

11.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	京都新聞に予告を掲載

レンジャーの活動内容	<p>(いままでの経緯と今回のテーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ツバメが渡ってきた春から継続して観察を続けて来た。6年生全員を対象にした学習会で地域の人との交流も深めている。 龍谷大学非常勤講師の須川恒先生にご指導頂きながら、「渡り」の科学的なメカニズムについての説明を受け、自分でも体験してみる。 <p>(来年への申し送り事項)</p> <p>今回、標識した野鳥は</p> <ul style="list-style-type: none"> オオヨシキリ 3羽(2A, 1J)、スズメ 1羽(1J)、ツバメ 18羽(4A, 14J)。 <p>ツバメの体重は、16.4g~20.2gでした。</p> <p>他にオオヨシキリ、セッカ、カワラヒワ、アブラコウモリが多く観察できた。</p> <p>(6月14日学習会の報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇多野小学校視聴覚教室 9:00 から 11:30 まで。 宇多野小学校 3年生児童 67名と教師 3名。 <p>中村レンジャー、スタッフ 1名 (野鳥の会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容： 4月から校区内の野鳥の観察を続けてきたが、今日は振り返り授業の実施。春からの学習の成果と云うべきか、児童が今まで知らなかった野鳥とそれらを取りまく環境について様々な疑問点がでてきた。今日は徹底的に疑問について皆と話し合い、問題の解決につなげ、これからの学習の参考にしたい。水辺→生きもの→これから私たちができること・・・ <p>野鳥と他の生きものとの関わり、それらが人間にとってなぜ大切なのかについて、少しでも近づくことができればうれしい。</p>
------------	--

11.3 活動状況



ツバメの罫入りの観察



担当者の許可を得てかすみ網にてツバメの調査状況を見学



須川先生による「渡り」について説明



宇治川のヨシ原

11.4 意見・課題

参加者からの意見	参加者の疑問 ツバメは巣をかけるときどのようなところを選ぶ? 巣材は何? ヒナができたらどのようにして外敵から守る?、 ヒナの数はいくつ? ヒナの数が少ない理由はなんだろう?— ヒナの餌は何? 餌はいっぱいあるの? どのようにして餌の捕り方を教えるのだろうか? 東南アジア方面へ帰って行くって何故判るの? 途中で寄り道するのかな? また、来年も3月ころになったら帰ってきてくれるかな?
今後の課題	網からはずしたツバメを児童が見るためには、19:30 までは現場にいる必要がある。 足環つけの学習をするには 19:40 までは現場にいて欲しい。 現地到着を 18:00 頃にして少し解散時間を遅らせることはできないものか。

12. 中村 R・三宝寺川源流探検

・平成 22 年 11 月 16 日(火)

12.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	さくら学習「三宝寺川の環境を調べよう。」三宝寺川 源流探検!		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 11 月 16 日(火) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	73 名	
	宇多野小学校 4 年生児童	68 名	
	宇多野小学校教師	2 名	
	河川レンジャー	1 名	中村桂子
	協力スタッフ	1 名	日本野鳥の会 (井上さん)
運営事務局	1 名		
スケジュール	8:50	学校集合・ミーティング	
	9:00	中村レンジャーの挨拶	
	9:15	一路、三宝寺川源流へ	
	10:15	三宝寺源流にてCODパケットテスト実施 三宝寺源流の水と桂川の水をパケットテストにて値を比較	
	11:15	中村レンジャーからの、川の話、まとめ	
	12:00	宇多野小学校帰着、解散	
実施場所			

12.2 事前活動

各種資料	事前に打ち合わせを行い。資料を作成し担任の先生に渡す。
関係機関からの支援内容	上流域流域センター事務局からパケットの準備についてご協力いただいた。
レンジャーの活動内容	学校と打ち合わせを行い、学習内容に基づいて京都市から河川地図を取り寄せ、地元の源流を探し当て赴くことにした。 学習は「川の水はどこから」に始まった。豊かな山に多くの水が蓄えられ、源流の始まり (三宝寺川)。やがて桂川へと流れ込んだ水は三川と合流し淀川へと下りやがて太平洋にでる。それぞれの流域のパケットも行き、水のしくみ、人の暮らしについて学習していく。

12.3 活動状況



三宝寺川源流付近到着



14 グループにて学習



事務局によるパックテスト「COD」の説明



児童によるパックテストの確認。源流の水と桂川の水との値を比較

12.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

13. 中村 R・桂川講座

・平成 22 年 12 月 7 日(火)

13.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	桂川と生物多様性		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 12 月 7 日(火) 13:30~16:30		
参加人数	参加総数	99 名	
	一般参加者	16 名	大人 16 名、
	河川レンジャー	1 名	中村レンジャー
	講師	1 名	生物多様性ジャパン
	講師 スタッフ	2 名	国土交通省 淀川河川事務所 日本野鳥の会京都
	ワークショップ参加者	73 3 名	京都市立桂徳小学校 4 年生全員 教師
	河川レンジャー	4 名	仁枝レンジャー 田子レンジャー 柳沼レンジャー 松岡センターレンジャー
	運営事務局	1 名	
講師	川道美枝子氏 田中光雄氏	(生物多様性ジャパン) (国土交通省 淀川河川事務所)	
スケジュール	12:30	嵐山松尾大社 松竹梅の間にて桂川講座 準備	
	13:10	桂川講座 受講者入場開始	
	13:30	桂川講座開会・中村レンジャーによる発表「桂川への誘い」	
	14:00	桂徳小学校 4 年生の皆さんによる桂川について学んだ事の発表, 生物多様性についての質疑応答	
	15:30	田中講師 (淀川河川事務所) による講義「これからの淀川」	
	15:50	仁枝レンジャー (山崎出張所管内) によるワークショップ	
	16:05	柳沼レンジャー (桂川出張所管内) によるワークショップ	
	16:10	田子レンジャー (桂川出張所管内) によるワークショップ	
	16:20	松岡センターレンジャーによるワークショップのまとめ	
	16:30	中村レンジャーによる桂川講座の総括まとめ・終了	
実施場所			

13.2 事前活動

各種資料	観察会資料(レンジャー作成) 水辺の鳥の下敷き 桂川クリーン作戦(パンフ)
関係機関からの支援内容	資料の準備などレンジャー事務局に随分ご無理をお願いし感謝している。
レンジャーの活動内容	桂徳小学校の取組は面白かったが、もう少し時間的な余裕が必要の感。児童及び川道氏の「生物多様性」の話が今回の目玉。これから継続して実施されるであろう桂川河川整備について、大いに参考になる話では無かっただろうか。地域ごとに活動を進めている各レンジャーの報告も皆さん大変興味深く聞いていたと思う。

13.3 活動状況



桂徳小学校4年生の皆さんによる桂川について学んだ事の発表



川道講師(生物多様性ジャパン)による講義

13.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

14. 中村 R・三宝寺川生きものさがし

・平成22年12月8日(水)

14.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	桂川と人の暮らし、仕事を知る		
担当	出張所管内	河川レンジャー中村レンジャー	
開催日時	平成22年12月8日(水) 9:00~11:30		
参加人数	参加総数	76名	
	宇多野小学校4年生	73名	大人3名、子ども70名
	教師		中村桂子
	河川レンジャー	1名	嵐山通船社長(中西一夫氏)
	講師	1名	橋詰泰幸氏
運営事務局	1名		
講師	中西一夫氏	(嵐山通船社長)	
スケジュール	9:00	集合、嵐山通船社長 中西一夫氏に挨拶	
	9:30	宇多野小学校児童到着、中村レンジャーによる活動開始	
	9:45	嵐山通船社長 中西一夫氏による桂川と人の暮らし、ご自身の子どもの頃からの桂川での仕事についての話	
	10:15	宇多野小学校児童から嵐山通船社長 中西一夫氏への質疑応答	
	10:40	中西氏に堰を案内して貰い、説明を聞いた。自然観察、桂川の歴史等、質疑応答	
	11:30	終了	
実施場所			

14.2 事前活動

各種資料	かつての地元の歴史を語る写真集
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>【桂川と人の暮らし、仕事を知る】</p> <p>宇多野小学校4年生は、さくら学習として地元で流れる桂川の支流である「三宝寺川の生きものさがし」をテーマにして活動を継続して実施している。11月には桂川の支流に当たる三宝寺川の源流を尋ねた。廻りが山に囲まれており「森は自然のダム」の通り、児童が住んでいる地域は豊かな雨水</p>

が蓄えられた国有林に囲まれていることがわかった。
 事前に京都市の河川地図を取り寄せて事前学習を怠らなかったので、三宝寺の源流を訪れた児童は、三宝寺川が桂川の支流であることを知り、流れに沿って下って桂川を見たい、知りたいと思った。
 嵐山通船の中西社長は嵐山の近くで生まれ育った。小さい頃は今と違って水量が多かった嵐山で泳ぎ、おぼれて死にかけたこともあるという。いろいろな魚を捕ってはお小遣い儲けをしたという、桂川のことなら何でも知っている。今なお考え続けている堰の必要性や問題点、ウナギが捕りたかったけどなかなか捕れずに悔しかったこと、台風で辺り一面が水につかったこと、角倉了以と高瀬船の話し等々。
 昔は、多くの魚がいて野鳥も多かったが今はどこへ行ってしまったのだろう、と昔のことを語ってくれた。現在では嵐山に30隻ほどの船を浮かべて仕事をされている。話を聞いたあと、中西氏は子ども達を渡月橋の上にある「堰」に案内し、堰の役目等についての説明をしていた。いろいろな話を聞いたあと、その時子ども達は、今度はもっと下流を探検してみたくなっていた。

14.3 活動状況



嵐山通船の中西社長の話を聞く児童



昔の嵐山の写真等にて昔の桂川を語られた



桂川の自然環境を観察、桂川の歴史・環境等質疑応答

14.4 意見・課題

参加者からの意見	先生からの意見：今回の様な取組は是非とも今後引き継ぎたい。とても中身の濃い授業になったし、児童のためにまたとない機会を与えて頂き、感謝しているとのこと。
今後の課題	来年も実施する。野外ではなく場所については改めて考え直したいと思う。

15. 中村 R・嵐山小観察会

・平成 22 年 12 月 27 日(月)

15.1 実施状況

<テーマ：桂川自然観察会>

テーマ	桂川自然観察会（京都市立 嵐山小学校）		
担当	桂川出張所管内	中村レンジャー	
開催日時	平成 22 年 12 月 27 日（月） 9:00～12:00		
参加人数	参加総数	25 名	
	参加者	19 名	（大人 3 名、小人 16 名）
	河川レンジャー	1 名	中村桂子
	協力スタッフ	3 名	（日本野鳥の会京都 井上、伊佐氏）
	運営事務局	2 名	松岡、田井中両氏
スケジュール	8:45	集合（京都市立 嵐山小学校）	
		・受付、準備	
	9:00	開会	
		・レンジャー挨拶、活動内容、嵐山付近の自然環境のお話し	
		・スタッフ紹介	
	9:10	観察開始	
		・嵐山・中之島公園に向け、移動しながら観察	
	10:00	・嵐山 中之島公園 到着	
	11:25	・学校に戻りながら観察	
		学校に到着	
	11:45	・鳥あわせ	
		・レンジャー、スタッフによる紙芝居を用いた野鳥の説明	
	12:00	終了	
		・片付け	
	12:15	スタッフ解散	
実施場所			

15.2 事前活動

各種資料	活動案内 野鳥の資料)
関係機関からの支援内容	・日本野鳥の会京都（観察指導、スタッフ協力） ・淀川河川事務所（配付資料）

レンジャーの活動内容	<p>京都市立嵐山小学校の児童及び保護者を対象とした観察会を例年実施している。</p> <p>先生も同じ先生のため事前打ち合わせ等はメールですませている。学校行事として取り上げて頂いているので負担が軽い。</p> <p>比較的参加者数は少ないが、常連の児童達がいるため観察会を重ねるごとに知識が向上し、豊富になっており楽しみでもある。</p> <p>昨年に配布した「桂川の野鳥」の下敷きを持参し観察をしている親子がいた。継続して実施することが大切であることを痛感した。</p>
------------	--

15.3 活動状況



観察の様子（中之島公園へ移動しながら各自の双眼鏡で野鳥の姿を探す）



観察の様子（フィールドスコープでより大きな形で野鳥を観察）

15.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>【児童の感想】</p> <p>「3時間では短かすぎる」という嬉しい声が帰ってきた。</p> <p><観察種></p> <table border="0"> <tr> <td>○スズメ</td> <td>○ハシブトガラス</td> <td>○ヒヨドリ</td> <td>○モズ</td> <td>○ツグミ</td> </tr> <tr> <td>○ウグイス（地鳴き）</td> <td></td> <td>○オオジュリン</td> <td></td> <td>○キジバト</td> </tr> <tr> <td>○コサギ</td> <td>○ダイサギ</td> <td>○アオサギ</td> <td></td> <td>○キセキレイ</td> </tr> <tr> <td>○ハクセキレイ</td> <td></td> <td>○セグロセキレイ</td> <td></td> <td>○カワセミ</td> </tr> <tr> <td>○イソシギ</td> <td>○ヒドリガモ</td> <td>○オナガガモ</td> <td></td> <td>○コガモ</td> </tr> <tr> <td>○マガモ</td> <td>○カワウ</td> <td>○カイツブリ</td> <td></td> <td>○ユリカモメ</td> </tr> <tr> <td>○トビ</td> <td>○オオタカ</td> <td>○ショウドウツバメ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[26種]</p>	○スズメ	○ハシブトガラス	○ヒヨドリ	○モズ	○ツグミ	○ウグイス（地鳴き）		○オオジュリン		○キジバト	○コサギ	○ダイサギ	○アオサギ		○キセキレイ	○ハクセキレイ		○セグロセキレイ		○カワセミ	○イソシギ	○ヒドリガモ	○オナガガモ		○コガモ	○マガモ	○カワウ	○カイツブリ		○ユリカモメ	○トビ	○オオタカ	○ショウドウツバメ		
○スズメ	○ハシブトガラス	○ヒヨドリ	○モズ	○ツグミ																																
○ウグイス（地鳴き）		○オオジュリン		○キジバト																																
○コサギ	○ダイサギ	○アオサギ		○キセキレイ																																
○ハクセキレイ		○セグロセキレイ		○カワセミ																																
○イソシギ	○ヒドリガモ	○オナガガモ		○コガモ																																
○マガモ	○カワウ	○カイツブリ		○ユリカモメ																																
○トビ	○オオタカ	○ショウドウツバメ																																		
今後の課題	<p>嵐山小学校では桂川を対象とする生き物等についての学習会を行っている。冬のこの時期には例年「バードウォッチング」を保護者（祖父や祖母も参加）と一緒にやる。児童だけでなく保護者も一緒に行う活動は、桂川の環境問題について話し合う上においてはより効果的と思われる。家庭内での会話にもなり大変有意義な学習会だと自負している。</p> <p>歳の暮れでもあり、厳寒期、参加者が少なかった。それでも参加した児童はのびのびとバードウォッチング等を楽しんでいた。スケッチに夢中になる子もいたりして熱心な児童だけが参加したという感じ。</p>																																			

16. 中村 R・嵐山東小観察会

・平成 23 年 1 月 18 日(火)

16.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	桂川自然観察会		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー中村レンジャー	
開催日時	平成 23 年 1 月 18 日(火)9:00~12:00		
参加人数	参加総数	67 名	
	学校参加者	63 名	嵐山東小学校、教頭、教師 2 名、4 年生 2 クラス 60 名
	河川レンジャー	1 名	中村桂子
	スタッフ	2 名	井上、伊佐
講師	中村氏 伊佐氏 井上氏	(河川レンジャー、日本野鳥の会京都) (日本野鳥の会京都) (日本野鳥の会京都)	
スケジュール	9:29	児童の入場	
	9:38	スタッフの紹介と活動の主旨について説明	
	9:39	パワーポイントを用いた桂川の環境説明	
	10:21	積雪のなかを観察地に移動	
	11:00	堤防に出てスコープと観察のトレーニング	
	11:31	グループに分かれて観察(講師スタッフによる指導)	
	11:53	みんなで鳥合わせ(確認種の確認)	
実施場所			

16.2 事前活動

各種資料	桂川野鳥資料(レンジャー作成)
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	○出現鳥 カワウ、カワセミ、トビ、ユリカモメ、セグロセキレイ、ドバト、キジバト、エナガ、ムクドリ、ツグミ、メジロ、ジョウビタキ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、ウグイス、シジュウガラ、計19種

16.3 活動状況



9:39 パワーポイントを用いた講義



9:39 熱心に書き取る4年生



11:00 堤防に出てスコープと観察のトレーニング



11:53 みんなで鳥合わせ(確認種の確認)

16.4 意見・課題

参加者からの意見	先生から継続して5年生、6年生と実施して欲しいという要望があった。
今後の課題	4年生という学年が一番適していると思われる大変興味深い観察会を開催できた。自然に対する感心がぐんぐんと伝わってくるのが感じられた。河川敷にある嵐山東公園には小さな池がありそこがあらゆる生き物の生息条件が揃っていて、環境的には抜群の場所である、そのことについては先生にも十分に説明し、可能なら継続して観察会を実施したい旨伝えた。

17. 中村 R・淀川たんけん

・平成 23 年 1 月 19 日(水)

17.1 実施状況

<テーマ:> 「三宝寺川生き物探し」の一環＝川と人々の暮らし

テ ー マ	「さくら学習」～淀川たんけん～		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー 中村レンジャー	
開催日時	平成 23 年 1 月 19 日 (水) 9:00～16:00		
参加人数	参加総数	76 名	
	児童	68 名	宇多野小学校児童 68 名
	講師	3 名	教師
	河川レンジャー	1 名	中村レンジャー
	運営事務局	1 名	
講師	日朝氏 田中氏	淀川河川事務所 管理課 大阪府 村野浄水場	
スケジュール	9:00	集合	
	9:20	京都バスにて宇多野小学校出発	
	10:00	淀川管理用通路バスにて通行 日朝専門員からの説明	
	10:10	樟葉ワンド到着、日朝専門員からのワンドについての説明	
	11:00	大阪府水道局 磯島取水場到着 村野浄水場田中氏からの説明 磯島取水場見学「沈砂池、導水ポンプ等見学」	
	12:00	中央流域センター到着、昼食、淀川についての DVD 視聴	
	12:50	淀川資料館到着、見学、淀川の水質 COD 検査実施	
	14:25	アサヒビール大山崎山荘美術館から三川合流地点見学	
	15:45	宇多野小学校到着、終了・解散	
実施場所	 <p>今回活動範囲</p>		

17.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	計画を立て、学校やバス会社との交渉は出来たが、訪問先等との交渉については流域センターの橋詰泰幸氏に全面的にお世話になり大変感謝している。 磯島取水場では、参加者全員にお土産として保存用の呑み水と資料を頂いた。
レンジャーの活動内容	4 年生が学習している「川と人々の暮らし」について 1 年間学んできたが、地元である源流境界のことしかわからない子ども達は、もっと下流域の事について知りたいと云った。淀川流域を訪問し歴史や水の事について学ばせたいと思った。また、京都の河川と淀川との関わりについて学んだことは、これからの生活の中で折に触れて川を大切に、今、自分達に出来ることは何かを考える機会になったと思う。きれいな上流の水をきれいに下流へながそう、まずそこから始めよう！ 三宝寺川の源流から始まった学習会は今回の淀川でひとまず終了。

17.3 活動状況



日朝専門員による樟葉ワンドの説明



磯島取水場「導水ポンプ見学」



パックテスト「COD」による淀川の水質調査



大山崎山荘美術館のテラスから三川合流

17.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

18. 中村 R・西京極小観察会

・平成 23 年 1 月 22 日(土)

18.1 実施状況

<テーマ:> 桂川自然観察会

テーマ	桂川自然観察会		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー	中村レンジャー
開催日時	平成 23 年 1 月 22 日(土) 9:00~12:15		
参加人数	参加総数	18 名	
	一般参加者	13 名	大人 5 名、子ども 8 名
	河川レンジャー	1 名	中村レンジャー
	講師	1 名	小学校教頭
	スタッフ	2 名	井上栄 (植物の専門家) 伊佐登氏
	運営事務局	1 名	西野さん
スケジュール	9:00	西京極小学校集合	
	9:15	教頭の挨拶	
	9:20	中村レンジャー挨拶 (フクロウの剥製をつかっての説明)	
	9:50	桂川左岸 桂大橋の上流にある大きな寄州で観察開始	
	10:50	下流ワンドへ移動	
	11:15	観察終了・小学校へ戻る	
	11:40	観察した野鳥の習性等について、また採取した木の実(オナモミ)等についての学習会。	
	12:15	終了	
実施場所			

18.2 事前活動

各種資料	桂川野鳥資料 アンケート調査用紙
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>この場所の寄り州は西京極小学校との学習会には無くてはならない場所。いつものようにオニグルミの実をひらい、オナモミで遊んだ。オナモミからマジックテープが開発されたこと、フクロウから新幹線のパンダグラフが開発されたなど、カワセミと新幹線 500 系統のデザインについても説明した。自然がもたらす力は大きいこと、デザインや習性・効果について、学ぶ事が余りにも多いと言うことを知り、子ども達は目をぱちくり！。非常に珍しい事として受け止めていたようだ。自然との接し方を考え、今後とも楽しみながら自然と向き合って欲しいものです。後日、子ども達から感想文が届いた。</p> <p>【出現鳥】紙芝居を使って観察した野鳥を確認した。 カイツブリ、カワウ、カワセミ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、トビ、ユリカモメ、ドバト、ミコアイサ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ジョウビタキ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ケリ、キジバト 計 28 種</p>

18.3 活動状況



・西京極小学校での集合風景



・西京極小学校教頭挨拶



・野鳥観察風景



・鳥合せ

18.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>●天気も良く、川の向こう側に愛宕山が見え、とても気持ち良かったです。望遠鏡ではっきりと、大きく見える鳥にびっくりしました。桂川にこんなにたくさんの種類の鳥がいるなんて全く知りませんでした。私も子どももとっても物知りになった気持ちです。ありがとうございました。(2年生保護者) 原文のまま</p> <p>●今回はいろいろな活動が重なって参加者が少なかったこと残念でしたが逆に濃密な観察会になったと喜んでます。育成学級1年生の児童が3時間もの活動に飽きなかったことが本当に嬉しかったです。</p> <p>桂川の自然環境保全への取組として本校が力を発揮できるように、自然観察、環境学習の充実を目指しながら、観察会から「環境学習会」へと広げ切り替えていきたいと考えています。(羽田教頭先生)</p>
<p>今後の課題</p>	<p>桂川右岸桂離宮の向かい側、桂大橋と阪急線鉄橋の左岸の中間辺りに位置する寄り州。私たちは宝島とよんでいるこの寄り州がいつまで残されるだろうか。この場所は地域の人たちが自然と向き合うための「拠点」になっていることは間違いないのだが。</p> <p>自然にできたワンドと共にいつまでも残されることを要望します。</p>

19. 中村 R・宇多野小出前講座

・平成 23 年 1 月 25 日(火)

19.1 実施状況 (雪のため急遽室内学習会に切りかえる)

<テーマ:>

テ ー マ	宇多野小学校出前講座		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー中村レンジャー	
開催日時	平成 23 年 1 月 25 日(火)9:00~12:00		
参加人数	参加総数	95 名	
	学校参加者	91 名	宇多野小学校 6 年 父兄 13 名、児童 75 名、教師 3 名
	河川レンジャー	1 名	中村桂子
	スタッフ 運営事務局	2 名 1 名	井上、伊佐氏
講 師	中村氏 伊佐氏 井上氏	(河川レンジャー、野鳥の会) (日本野鳥の会) (日本野鳥の会)	
スケジュール	9:51 10:03 10:34 11:14 11:28 11:29	今まで自然観察会等で学習した内容の振り返り (PPT)。 児童から質疑応答 鳥のさえずりをスカントークで聞く フクロウの剥製を用いた講義のようす さわってみてフクロウを体感 閉会時に参加児童から感謝の礼	
実施場所			

19.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし

19.3 活動状況



9:51 PPTを用いたレンジャーの鳥の講義



10:34 講師と聞く鳥のスカントーク



11:14 フクロウの剥製を用いた講義のようす



11:28 さわってみてフクロウを体感

19.4 意見・課題


参加者からの意見	特になし
今後の課題	<p>急遽室内で行うことになり、今年1年間の振り返り授業を行うことにした。6年生の児童は、4年生から5年生、6年生と自然観察会を継続して経験している。今までの観察会の中で見たこと、感じたことをふりかえり、今後の生活にどのように役立てることができるのだろうか、ということテーマにして授業を進めることにした。</p> <p>(フクロウの剥製を持参)</p> <p>①フクロウと新幹線のパンダグラフとの関係について、 ②カセミと新幹線500系のデザインについて、を説明し、それらを考えたのは野鳥の会員京都支部の会員でありごく身近にいる人です。</p> <p>そのようなことから、自然と私たちの暮らしは、切っても切れない関係にあること。自然をただ感じるだけでなく、私たちの生活とともにあること、いろいろなヒントが隠されている、それが自然だと云うこと。</p> <p>3/20には卒業していく6年生の児童にしっかりと伝えることができただろうか。</p>

20. 田子 R・春の桂川自然観察

・平成 22 年 5 月 5 日(水・祝)

20.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	春の自然観察会		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー田子レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 5 日 (水祝) 9:00~14:00		
参加人数	参加総数	39 名	
	一般参加者	28 名	うち子どもさん 3 名
	河川レンジャー	1 名	
	講師	5 名	
	スタッフ	4 名	
	運営事務局	1 名	
講 師	植田氏 松尾氏 田口氏 森田氏 石川氏	(野鳥の会) (野鳥の会) (野鳥の会) (野鳥の会) (河川ごみ防止呼びかけ)	
スケジュール	8:36 9:15 9:28 10:19 11:03 11:06 11:29 11:54 11:47 12:46 13:26 13:51	受付のようす・阪急西京極駅前 西京極競技場でのレンジャーあいさつ 石川講師・河川ごみ防止呼びかけの児童ポスター解説 阪急鉄橋(上流)方向の観察 桂大橋上流での集合写真 植田講師の鳥の解説 松尾講師のふろしき講義 竹笛の作り方教室 レンジャーによる植物教室 参加者子どもさんの旗手 オドリコソウ群生地 田口講師による鳥合わせの後閉会	
実施場所			

20.2 事前活動

各種資料	レンジャーニュース 春の野草一覧表 野鳥チェック表
関係機関からの支援内容	レンジャーニュース提供 参加案内パンフレットプリント及び配布 傷害保険加入
レンジャーの活動内容	春の桂川自然観察全般 野鳥のお話 野草のお話 紙の竹とんぼ作り教室 風呂敷の活用教室 竹笛の作り方教室 桂川美化啓発の呼びかけ

20.3 活動状況



9:28 石川講師・河川ごみ防止呼びかけの児童ポスター解説



11:54 竹笛の作り方教室



11:47 レンジャーによる植物教室



12:46 参加者子どもさんの旗手

20.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ とても楽しかった。又参加したい。 ○ 普段通っても気が付かなかった花々がこれ程咲いているとは驚き。 ○ 野草が多く綺麗だったが、ゴミも多くて残念でした ○ 綺麗なトイレがあれば良いのですが ○ 水面に浮かぶ水鳥に心が和みます。この自然を大切にしたいです。 ○ スタッフの皆様ご苦労様でした。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少々暑く、歩く距離を短くしたが、休憩適地の日陰が少ない。 ○ 観察コースにトイレが少なく（簡易トイレしかない）行動範囲が限定される。 ○ 5月5日の連休で各種行事と重なって子供の参加が少なかった。

21. 田子 R・桂川クリーン作戦関連講演

・平成 22 年 6 月 20 日(日)

21.1 実施状況

<テーマ:>桂川クリーン大作戦『綺麗な川はみんなの願い』

テ ー マ	第 6 回 近畿の環境団体情報交流会「桂川クリーン大作戦『綺麗な川はみんなの願い』」		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー 田子レンジャー	
開催日時	平成 22 年 6 月 20 日 (日) 11:15~12:30		
参加人数	参加総数	206 名	
	聴講者 パネリスト 河川レンジャー 協力スタッフ 運営事務局	約 200 名 3 名 1 名 1 名 1 名	田子レンジャー
講師	田子氏	(河川レンジャー)	
スケジュール	11:00	会場到着・準備	
	11:15	第 6 回 近畿の環境団体情報交流会 テーマ別討論会 開始	
	11:55	田子レンジャー「桂川クリーン大作戦『綺麗な川はみんなの願い』」 発表	
	12:15	発表終了	
	12:30	第 6 回 近畿の環境団体情報交流会 テーマ別討論会 終了	
実施場所	<p>かしはら万葉ホール</p> 		

21.2 事前活動

各種資料	桂川クリーン大作戦の取り組み紹介用パワーポイント 第 3 回クリーン大作戦案内パンフレット レンジャーニュース
関係機関からの支援内容	パワーポイント作成 レンジャーニュース提供
レンジャーの活動内容	パワーポイント用資料準備 討論会出席 クリーン大作戦の取り組み紹介及び河川美化活動の呼びかけ 交流会出席

21.3 活動状況



田子レンジャー「桂川クリーン大作戦
『綺麗な川はみんなの願い』」発表



討論会の様子

21.4 意見・課題

参加者からの意見	是非淀川でも一斉清掃を行いたい。
今後の課題	特になし

22. 田子 R・秋の桂川自然観察

・平成 22 年 10 月 17 日(日)

22.1 実施状況

<テーマ:> 桂川自然観察会

テーマ	秋を探そう		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー	田子レンジャー
開催日時	平成 22 年 10 月 17 日(日)		
参加人数	参加総数	65 名	
	応募参加者	63 名	(大人 57 人・子供 6 名)
	河川レンジャー	1 名	
	講師	3 名	野鳥の会・風呂敷の会他
	スタッフ	4 名	
講師	運営事務局	1 名	
	田子氏	(河川レンジャー)	
	松尾氏	(野鳥の会)	
	植田氏	(野鳥の会)	
スケジュール	9:00	阪急松尾橋集合	
	9:05	出発	
	9:10	田子レンジャー挨拶	
	9:25	観察開始	
	10:35	小休憩・観察開始	
	10:30	嵐山中之島公園到着	
	11:35	集合写真	
	11:37	昼食	
	13:00	風呂敷活用法 (松尾氏)・鳥の特徴ミニ講座 (植田氏)	
	13:25	鳥会わせ	
	13:30	植物会わせ (キノコ類)	
	13:40	クイズ	
	14:00	解散	
	実施場所	桂川付近～嵐山中之島	

22.2 事前活動

各種資料	桂川自然観察会(レンジャー作成資料)
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>コース 阪急松尾駅～右岸を嵐山</p> <p>出現鳥 35種(エゾビタキ、シメ、カワセミ、モズ、ノビタキ、メジロ、コゲラ、コガモ他)</p> <p>野草 サクラタデ、ママコノシリヌグイ、アキノノゲシ、センダングサ、ヤナギタデ、カナムグラ、ガガイモの実、ツルヨシ、オギ他</p> <p>キノコ オニフスベ、カラカサタケ</p> <p>チョウ、トンボ、バッタ、クモなど多数観察</p> <p>アンケート回収 34名</p>

22.3 活動状況



野鳥・野草観察



ブッシュの中でのキノコ観察

22.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大変積極的に活動されていて、準備大変だと思います。微力ですがご連絡頂ければ協力させていただきます。 ○ 面白い植物の名前を知り・・・こんな経験初めてなのでとても貴重でした。 ○ 手作り(工作)教室も楽しかったです。自然について考えるよい機会でした。スタッフの皆さんありがとうございました。 ○ 桂川の自然を子供達に伝えたい。 ○ 自然に触れながら多くの人と交流できて癒されました。 ○ 自然がいっぱい残っていてとても嬉しいです。今日は一日楽しかったです。 ○ 豊かな自然を大切にしてほしい。いつも楽しませて頂きありがとうございます。 ○ 外来種もあるがままに受け止めたいと思います。新しい仲間として。玉川上水、千川上水沿いを親しんできました。川沿いはどうも殺伐と感じていました。しかしこれからは分け入ってみようと思います。
今後の課題	<p>主催者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者が多かった為、自転車道をふさぐことがあり、小さなグループ分けが必要。 ○ 子供が退屈しない様工夫が必要。 ○ 今回歩きやすいコースでトイレの心配がなかったことが参加者増につながったと思われる。 <p>一人楽しくなかったとアンケートにありましたが、参加者一人ひとりに話が出来なかったかもしれず、今後の運営に工夫が必要</p>

23. 田子 R・自然観察と美化啓発・嵐山小

・平成 22 年 10 月 20 日(水)

23.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	小学校自然観察会と美化啓発活動		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャーレンジャー	
開催日時	平成 22 年 10 月 20 日(水)9:00~12:30		
参加人数	参加総数	72 名	
	学校参加者	67 名	嵐山小学校 5 年、教師 1 名、児童 66 名
	河川レンジャー	1 名	
	講師 運営事務局	3 名 1 名	
講師	田子氏 平澤氏 植田氏	(河川レンジャー、野鳥の会会員) (野鳥の会会員) (野鳥の会会員)	
スケジュール	9:19	観察場所に講師移動	
	9:35	児童第 1 班の到着	
	9:38	レンジャーから活動上の諸注意	
	9:50	観察の開始	
	10:12	タデの試食	
	11:23	鳥の講師の指導	
	12:31	自然のなかの危険について講義	
	12:34	講師に質問する児童	
実施場所 嵐山小学校			

23.2 事前活動

各種資料	出現種チェックリスト
関係機関からの 支援内容	嵐山小学校から会場の提供
レンジャーの活動内容	野外観察活動：野鳥観察、タデの味確認など 室内講義：野鳥の話、自然に存在する危険など

23.3 活動状況



9:50 観察の開始



10:12 タデの試食



12:31 自然のなかの危険について講義



12:34 講師に質問する児童

23.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	<p>時間に制約があつて定点の観察になった。 冬鳥の飛来が遅れていることで野鳥が少なかったが渡り途中のノビタキなどを観察。 野草も少なくなる時期では有つたが、ヤナギタデをはじめタデ科を紹介できた。 学校のスケジュールに合わせての限られた時間と場所で、どの様に桂川の自然のすばらしさを伝えるか？ 幾つかのパターンで資料を作っておきたい。</p>

24. 田子 R・冬の自然観察観察

・平成 22 年 12 月 23 日(日)

24.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	桂川観察会「冬鳥を探そう」		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー田子レンジャー	
開催日時	平成 22 年 12 月 23 日(日)9:00~13:30		
参加人数	参加総数	36 名	
	一般参加者	30 名	大人 29 名、子ども 1 名
	河川レンジャー	1 名	
	講師	3 名	
	スタッフ	1 名	
	運営事務局	1 名	
講 師	田口氏 伊岐須氏 山本氏 田子氏	(野鳥の会) (野鳥の会) (野鳥の会) (野鳥の会、河川レンジャー)	
スケジュール	9:05 9:12 9:47 10:28 11:14 13:04 13:35 13:35	JR 西大路駅前での受付のようす 西大路駅最寄りの公園にて本会の主旨説明 桂川の冬鳥について説明 新幹線橋梁下流にて観察のようす ガガイモの綿毛の解説 阪急橋梁下流のサギのコロニーの観察 講師による鳥合わせ(出現種の確認) バードカービングの贈呈	
実施場所 コース JR 西大路 駅～JR 鉄橋左岸を阪急 鉄橋			

24.2 事前活動

各種資料	桂川クリーン大作戦案内パンフレット 出現鳥リスト、アンケート用紙 桂川で撮った花の写真
関係機関からの 支援内容	案内チラシのプリント 案内チラシの配布 レンジャー事務局より取材及び運営サポート
レンジャーの活動内容	出現鳥 39 種 (ハイタカ、チョウゲンボウ、ベニマシコ、アリスイ、カワセミ、ミコアイサ、ヨシガモ他)

24.3 活動状況



9:47 桂川の冬鳥について説明



10:28 新幹線橋梁下流にて観察のようす



13:35 講師による鳥合わせ(出現種の確認)



13:35 バードカービングの贈呈

24.4 意見・課題

参加者からの意見	アンケート回収 21名
	アンケート
	一 この観察会を何でお知りになりましたか。
	① 案内チラシ ②新聞 ③誘われて その他(ネット)
	14名 2名 3名 2名
	二 今日の観察会は
	①楽しかった ②楽しくなかった ③その他
	21名
	三 桂川の自然は豊かだと思いますか?
	①思う ②思わない ③その他
	18名 3名
	四 河川レンジャー主催の観察会に参加されたことが有りますか?
	①参加したことがある ②今回が初めて ③次回も参加したい
	19名 2名
	五 河川レンジャーを知っていましたか
	①知っていた ②知らなかった
	20名 1名
	六 桂川の美化を重要なレンジャー活動と位置づけています。協力頂ける方は連絡先をお知らせ下さい。(4名の記名がありました。)
	七 桂川についてご意見が有ればお聞かせ下さい
	○ 樹木が切られて残念です。
	○ 2年前に見たときは沢山のトモエガモに感激しました。工事(木の伐採)に対してどうしたら良いのか考え込んでしまいました。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日は野鳥も見せていただき、野草の勉強もさせていただきとても有意義な一日でした。 ○ 桂川の自然がいつまでも守られる様願っています。 ○ 今年の乱暴な伐採振りにショックを受けました。 ○ ガガイモの実がほしいのである所を教えてください。 ○ 今の自然を残したいです。 ○ 出来るだけ自然が生き残れる工法で工事（伐採）を。 ○ 大きい木は残してほしい。切りすぎ。
<p>今後の課題</p>	<p>主催者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5年間レンジャーとして運営委員会で承認された私の活動テーマの1つである桂川の自然のすばらしさを知ってもらう観察会で、その象徴としてカラスウリ、ガガイモを毎回披露してきましたが、今日その生育場所周辺の樹木が切られ、重機に踏みしだかれている現場を目の当たりにして参加者の何人かから非難の声を聴きました。私の非力を痛感しながら空しさを感じる観察会でした。 ○ 伐採がなされていることから、鳥の姿がとても少なかった。

25. 田子 R・クリーン作戦説明会

・平成 23 年 1 月 22 日(土)

25.1 実施状況

<テーマ:> 第 4 回桂川クリーン大作戦 合同説明会

テーマ	第 4 回桂川クリーン大作戦 合同説明会		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー 田子レンジャー	
開催日時	平成 23 年 1 月 22 日 (土) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	62 名	
	各種団体担当者 協力スタッフ 河川レンジャー 運営事務局	50 名 10 名 1 名 1 名	桂川流域クリーンネットワーク 田子レンジャー
スケジュール	9:00 10:00 10:05 10:15 11:30 12:00	準備 仁枝レンジャーの挨拶 田子レンジャーの挨拶 桂川流域クリーンネットワーク事務局より、第 4 回桂川クリーン大作戦に伴う、注意事項等各種説明 後片づけ 終了	
実施場所			

25.2 事前活動

各種資料	会議資料
関係機関からの支援内容	西京区役所の会議室の使用 レンジャー事務局で資料プリント。展示写真プリント。 取材
レンジャーの活動内容	第 4 回桂川クリーン大作戦の実施説明会

25.3 活動状況



田子レンジャーと仁枝レンジャー、桂川流域クリーンネットワーク事務局による準備



仁枝レンジャーの参加者への挨拶



田子レンジャーの参加者への挨拶



各種団体担当者、注意事項等説明会の様子

25.4 意見・課題

参加者からの意見	流木はゴミの対象になるのか？ 参加者名簿の記載について？
今後の課題	清掃区域が長大な為会場を何所に設定しても不便なところが出る。 せつかく遠方から参加してもらうので。説明会の後イベントを組むことも意義があるかもしれない。

26. 柳沼 R・かわみ

・平成 22 年 4 月～9 月

26.1 実施状況

<テーマ：かわみ>

テ ー マ	かわみ		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー	柳沼レンジャー
開催日時	平成 21 年 4 月 1 日（木）～平成 22 年 9 月 30 日（木）		
参加人数	参加者延	66 名	
	一般参加者（住民・市民）	33 名	
	河川レンジャー	1 名	
	NPO	4 名	
	行政	28 名	
活動概要	4 月 1 日から 9 月 30 日の間、適宜実施。		
実施場所			

26.2 事前活動

各種資料	淀川モバイルネットチラシ 淀川発見講座告知チラシ 川遊び危険告知チラシ 河川レンジャーNews
------	--

<p>上半期の方向性について</p>	<p>2009 年度より行動域が拡大し、流域全体として見やすく・考えやすくなった。新規追加となった活動範囲域や、情報不足地域に関してはまだ基礎情報の下調べの状態のため、新規範囲での対話や地域住民との関係構築は今後の課題である。</p> <p>現時点において、河川の状況や流域のさまざまな状況が不明のため、担当域（担当流域＝旧乙訓郡域＋三川合流点＝西京区、南区、伏見区、向日市、長岡京市、大山崎町ならびに八幡市）を対象として河川を歩き、基礎的な情報を収集出来ていない。また、これらの情報は「流域」として、関係機関においてもまとまった形でほとんど収集・集約されていない状況である。</p>
<p>活動状況</p>	<p>今期は勤務先の関係で十分に練った・丁寧なかかわみを実行することが出来なかった。2010 年前期は 2009 年度と比較して活動量が非常に減少している。そのため、回数や内容の面で十分に地域の人々と話し、流域課題を把握することができたとは言いがたい。また、行政担当者等とは電話等により打合せは行うことができたものの、「かわみ」としてはあまり活動・訪問できていない。</p> <p>しかし、今までの住民、自治会等との関係性もあり、問い合わせや依頼等、普及関係の相談は様々な形で連絡が来ている。</p>

26.3 活動状況



③西羽束師川支川五間掘流域溢水後の排水機場 写真はスクリーンより回収されたゴミ（淀大下津）



④同左



⑤西羽束師川支川五間掘流域ほぼ最深地点 ガードレールは冠水したと思われる（長岡京市勝竜寺）



⑥小畑川支川犬川堤防 1



⑦小畑川支川犬川堤防 2

26.4 意見・課題

参加者からの意見	別紙 アンケート内容参照
今後の課題	<p>河川レンジャーの持つ「情報」を活かす仕掛けについて</p> <p>河川レンジャーは行政が関与した制度ではあるが、レンジャーの活動にあたって、しっかり手順を踏めば、行政上の組織や土地をつなげて活動することができる。また、本年度より担当の区域を超えて活動したり、府市町域において展開することがしやすくなった。それらのことにより、各レンジャーの持つ専門性の分野において、単一の部局や行政機関では持っていない情報や水流の仕組み、また、地域や地区固有の制度を理解している場合も多い。それらの事に対して情報共有ができていれば、未然に防げる事も多い。そのあたりについて検討する必要があるのかもしれない。</p> <p>河川レンジャーの持つ「視点」を活かす仕掛けについて 普及の手法について</p> <p>上記の写真のような件であるが、「立ち入り禁止」という情報以外に、もう少し踏み込んだ情報提供があると住民に理解してもらいやすいのかも入れない。</p> <p>また、各レンジャーの専門分野から考えると、農業分野を防災や産業振興で見ると、河川利用を環境や地域の雇用状況・生活状況で見ると、部局単体では気がつかない視点もある。そのため、各部局とも連動しながら様々な手法で普及を行いたい。</p> <p>※前期分報告以外の事項となるが、10月になって桂川本川以外の堤防で堤防の土質調査が始まっている。この作業箇所における説明パネルの内容はわかりやすく、「まちなかのミニ防災展」のようである。これに関して、住民の間で「いままでよりずいぶんわかりやすい」と評判がよい。</p> <p>行政との役割分担と連携</p> <p>犬川上流域からの硫化臭と同時期、小畑川・犬川の合流点付近で起こった魚の大量の件という事があった。この件ではレンジャー自身も異変を感じており、普段から協力してくれる流域住民からも情報提供や写真をいただいた。しかし、発生した期間が短く、仕事の関係もあり、十分に対応できなかった。ただでさえ多いとはいえない当該河川の生物や自然環境である。また、河川は地域の小中学校の隣にあり、教育機関の教育の場所としても非常に重要な場所である。市農業、市河川、府河川、国河川、市環境、保健所、市上下水、府流域下水、市市民協働、教育、市内関係団体と多数にまたがる関係機関と協力する仕組みを事前に構築しておき、レンジャー自身が動けない場合、せめて電話でも対応できるような体制について検討していきたい。</p>

(別紙 アンケート内容)

- ・ばあちゃん(10水の体験者)な、こないだ死んだ。一回顔出しに来てや。
このあたりでも、戦前の水(害)経験しとおるの、もう何人かだな。
- ・あつこの自治会長、忙しゅうて、全然動いてくれんわ。このあたりじゃ、あつこが一番被害あるんやけどなあ。わしも、何回も言うたんやけどまた言うとかわ。あんたも顔出しと、案(水害ワークショップの企画)頼むで。
- ・今後も、防災の件で京都市内の自治会にも来てください。同じ川筋で、関係ありますしね。
- ・そっちじゃ(西羽東師川支川五間掘)そんなに(溢水)出たんけ?。田んぼもつかんたんやろか。(7月溢水)
- ・なんや、このごろの雨、怖いなあ。町内、年寄りばかりやから、どないして逃げるんやろ。年寄りばかりやで。昼、若いのおらんわ。
- ・あの穴(添付写真 犬川)、どないなってるんや。なんで役所すぐ直さんのや。洪水来たらどうすんのや。
(レンジャー説明 ほれ、ここ、堤防、結構厚いでしょ。それに、どんどんと水がぶつかる場所でもなし。で、役所はこのぐらいならまだ大丈夫と判断してるんだと思いますよ。こういうような少し穴があいてるような場所や弱いところはまだまだ各地にたくさんあるんです。で、ここよりもっと緊急度が高い場所もあります。大雨が降ったとき、「すぐなんか起こるような状態の」と、「まだまだ大丈夫なとこ」ではやっぱり、順番というか、優先順位の違いを付けないと。
逆に怖いでしょう。雨が多い夏場に何十日もかかる大きな作業(工事)をして、そんなときに大雨になったほうがもっと怖いですよ。水や台風がなくなる時期に作業して、来年の春までには直すらしいですよ。※このあたりの説明内容に関しては土木事務所と情報交換済み)
- ・それにな、あの穴(上記の堤防)、地元のもんが見つけたちゅうやないか。役所、パトロールどないなっとるんや。
(レンジャー説明 そら、無理ですわ。府の人も、毎度小畑川やら、小泉川一生懸命廻って見てますわな。何人かで廻ってますわ。それも右岸と左岸があるんで、2倍見んとあきませんわな。合せて何十キロにもなりますわ。それに、ほら、こんなに、ツタが生えますわな。そうすると、目で見ただけではわかりません。ね。ほしたら、川を使ってる地元の人や川で遊んでいる人の目が一番早いんですって。自分らの地域の堤防や川に興味を持ってもらうのが、助かります。というか、「地域が自分らの環境はまず自分たちでよくする」という思いが安全への道なんですって。)※この件の今後の対応については次項記載
- ・レンジャーさん、何とかならんか。わしらもちゃんと草刈りやら、役所に協力しとるやないか。(要望を)言う分、やっとるやろ。この魚、これだけ死んでそれでも何ともないって言うんか。この臭い、これ(何十もの魚の死骸)変やろ。毒流した犯人はだれや。何とか手を打ってくれ。

27. 柳沼 R・長岡京市防災訓練展示・大道芸 ・平成 22 年 9 月 5 日(日)

27.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	長岡京市総合防災訓練 展示・防災大道芸		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー 柳沼レンジャー	
開催日時	平成 22 年 9 月 5 日 (日) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	236 名	(防災訓練総参加者 449 名)
	レンジャー展示コーナー 来場者	230 名	
	乙訓土木事務所職員	3 名	
	府流域下水道事務所	1 名	
	河川レンジャー	1 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	8:00	準備・パネル展示	
	10:00	長岡京市総合防災訓練開始・見学者説明開始	
	10:30	防災大道芸	
	11:30	「第一回 小畑川・桂川クイズ」の実施	
	11:45	柳沼レンジャーからの表彰式	
	12:00	終了・後片付け	
	12:45	撤収	
実施場所			

27.2 事前活動

各種資料 配布物	長岡京市防災訓練計画 淀川モバイルネットチラシ 淀川発見講座告知チラシ 川遊び危険告知チラシ 河川レンジャーNews 乙訓水辺フェスティバルほか地域関連告知チラシ
関係機関からの支援内容	長岡京市危機管理担当：展示コーナーの確保・テント・看板等の設置・場内広報 広報：市報・ホームページ掲載等 乙訓土木事務所：防災関係パネルの貸出 府流域下水道事務所：水循環・流域理解のパネルの貸出、物品輸送協力 淀川河川事務所：レンジャー関係パネル、のぼり貸出、配付資料

<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との調整 出張所調整 長岡京市総務課危機管理担当調整 参加・展示に関する調整 京都府乙訓土木事務所 展示参加に関するの勧誘・調整 府流域下水道事務所 展示参加に関するの勧誘・調整 関連自治会 挨拶 雨水タンク入手・輸送（協力京都市交通局 輸送許可・関連駅への連絡） ・防災大道芸 雨水タンク編の実施 紙芝居形式で災害と雨水タンクとの関係を解説するとともに、雨水タンクの現物を展示することにより、理解を深めた。 ・第1回「小畑川・桂川クイズ」の実施 今年は新たに「第1回 小畑川・桂川クイズ」という、参加者が河川に興味を持ってもらえるようなクイズを作成し実施した。そののち、正解者の表彰式を行い、表彰状を発行した。 クイズの内容は参加者の方々が、自分たちのまちと森・山・川・防災・水循環のつながりを知ることのできるものとした。その後実施した表彰式では、全問正解の「優秀賞（西山と川を良く見ているで賞）」は出なかったが、敢闘賞の「もっと西山と川であそびま賞」を発行することができた。 なお、今回の総合防災訓練と関連して、当該地域における地震の断層や耐震補強等に関するクイズ問題も用意した。 ※クイズの内容は小学5年生でもわかる内容で、まぐれあたりもあるように作りましたが、残念！。今後、敢闘賞を取った人が地域の自然に親しみ、山や川で遊んでくれるきっかけになってくれるのを願っております。 ・展示、河川事故・河川利用普及用資料等配布 レンジャー制度、当該地区のレンジャーの活動内容、拡大版今昔地図の展示。河川利用・水関係事故等啓発チラシ、河川レンジャー通信の配布等。 なお、今回は、水害の原理や当該地における水害写真等の展示は乙訓土木さんに、水循環の仕組みについては府流域下水道事務所さんに分担して展示いただいた。
-------------------	--

27.3 活動状況



レンジャー関係ポスター・柳沼レンジャーによる防災大道芸（雨水タンク編）



レンジャー配布物・水辺・森林関係行事展示のようす

27.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引っ越してきたばかりで川の名前も川遊びができる場所も何も分からない。子どもが小さいので、川遊びはさせてやりたい。 ・去年よりずいぶん（会場内の）いいところをもらえたね。来年もぜひ出てください。 ・せっかくそんな恰好（川遊びをしやすい服と道具）をしているんだから、柳沼さんも、もっと川で遊びなさい。その使い具合では、今年は全然川に入っとらんか？ ・なんや、このごろ、来いへんけど、たまには（かわみで、自治会周辺にも）きいや。 ・おお、この地図、おもしろいな、（昔の地図を見て）ウチどこやろ。ここ（神足小学校）どこや。 ・なあ、おっちゃん、（紙芝居）、ちょっと難しい字あるわ。やさしく（解りやすく）言って（表現して）。※小学生 ・あんたな、あんたがまじめにやっとなのはようわかるけど、（このような行事の時には）わしら自治会のもんにもっと見えるようにせにや、伝わらんって。もっと目立つこともしたらええのや。普段手帳持って聞いている時とちごうて、あんたもみんなの前で、なんかわかりやすく楽しい仕掛けしたらええんや。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、過去の活動の蓄積もあり、会場内で参加者や校庭の中心に近い場所に展示コーナーを配置していただくことができた。 せっかくの市の支援に対して、こちら側の表現力の課題であるが、他の機関・団体等の体験型行事と比較して、参加者の興味を引くことができたか、十分に足を止める事ができたか、考えてもらうきっかけとなったかという課題もある。今回の展示の要点は乙訓土木事務所や流域下水道事務所にも参加してもらうようになったことである。また、主催者側の配慮で同じテントにしてもらい、企画段階から土木事務所と打合せを行い、配置のみならず展示内容の選択や重点化・協働での解説・行事展開等に関して一体運用することができたことである。そのうえ、同じテントとなった市営繕課耐震化推進担当者が以前の市防災担当者であったこともあり、営繕課とも協同で展開することができた。そのため、スペースを広く活用することができ、お互いが協力しあって解説等を行うことができた。 ・上記の事もあり、今後はより分かりやすく、参加性が高く体験度のある内容についても関係機関とともに連携・検討し、提案していきたい。 その一つとして、今回のクイズの拡大版をゲーム形式で500人の参加者全員対象に行うという手も考えられるであろう。 ・総合防災訓練において、地震と水害の複合型の想定が行われるようになったが、それらの事を鑑みて、地震と水害の連動した防災大道芸の作成も検討し理解促進に努めたい。 ・当該市内での防災訓練は小学校区順のため、次回実施されるのに10年かかる。その間を埋めるスポット的な展開協力についても検討していく必要もあるかもしれない。 ・大道芸の内容であるが、もともとが小学校5年生以上を対象とした中身であったため、低学年の子どもには一つ一つの言葉や河川の仕組みがわかりにくかった。防災分野で幼児・児童向きの普及内容研究の要望も高まる中、水害対応・減災を考えた場合、先進県の事例をも研究しながら、園児や低学年向けのわかりやすい内容も検討していきたい。
<p>感想等</p>	<p>当日は校区の各自治会、地域防災関係団体、各行政等々の約550人が、消火器体験・消防ホースまとあて体験や濃煙体験などに参加され、暑い日差しの中、楽しみながら体験していました。</p> <p>今後、展示内容や行事内容のわかりやすさ、参加型企画の必要など、課題はまだありますが、他の部局とも連動・協力しながら少しずつ良い内容にしていきたいと思えます。</p> <p>来年度はより、参加者が「未知な事を体験することができ」、「何か身につくような内容」に挑戦してみます。</p>

28. 柳沼 R・長岡第九小 総合学習防災編

・平成 22 年 11 月 12 日(金)

28.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	長岡京市の暮らしと洪水のかかわり えー、昔ここで洪水があったの?!		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー 柳沼レンジャー	
開催日時	平成 22 年 11 月 12 日(金)9:30~12:00		
参加人数	参加総数	66 名	
	学校参加者	61 名	長岡京市第九小学校 教員 3 名、児童 58 名
	河川レンジャー	1 名	
	講師	1 名	
	スタッフ	1 名	アクアアース 谷口氏
	長岡京市 運営事務局	1 名	環境政策推進課 長沼氏
講 師	山本 茂喜氏 柳沼 宣裕氏	長岡京・大山崎水防団団長 河川レンジャー	
スケジュール	9:30	会場到着・設営	
	10:35	児童入場と資料の受け渡し	
	10:50	水防団長から長岡京の水害と水防について説明	
	11:50	質疑応答 水防団長 環境政策推進課による森林管理についての回答	
	11:56	アクアアースによるリフレッシュタイム	
	12:08	レンジャーによる地域の水防災の説明	
	12:25	児童から閉会時のお礼・撤収開始	
	12:50	終了	
実施場所 長岡京市立第九小学校			

28.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>総合学習実施要領(案：レンジャー作成) 4年生用防災学習記入用紙 水防事務組合区域図 桂川クリーン作戦告知パンフ 西山森林整備推進協議会告知パンフ 災害対策告知ファイル 農村ふるさと学習告知パンフ 河川レンジャーNews</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>共催：長岡京市立長岡第九小学校、長岡京・大山崎水防団、桂川・淀川スイボーズ(水坊主、水防子、水防`S) 協力：長岡京市環境の都づくり会議 助言 長岡京市危機管理監 助言 長岡京消防署 助言 長岡京市環境政策監 助言 長岡京市環境政策推進課 助言、教材提供 京都府農林水産部 農林振興課 助言、教材提供 京都府府民生活部 危機管理・防災課 助言、教材提供、資料提供 京都府建設交通部 河川課 助言、教材提供 京都府府民生活部 府民力推進課 助言 京都府生活環境部 流域下水道事務所 助言 支援：国土交通省淀川河川事務所</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>学習の狙い 校区の周辺で起こった水との付き合い方や水害を軸に体験者等からお話を聞き、児童が自分たち秘生活している地域の水の流れ、人と川との付き合い方などの身近な地域の課題を例として学習した。 それにより、水害や災害の認識だけではなく、地域や流域を「立体的に、より身近な場所」として認識でき、「地域で安全に暮らす」ということを自ら考え、非常時には自ら行動出来るようにした。また、それにより、ソフト型防災(自助共助型防災)の理解を促した。 3・4年生社会科教科書「健康なくらしをささえる」・「命とくらしをささえる水」や「地域のはってんにつくした人々」・「用水路をつくる」・「地図に親しむ」とも関連した内容として授業を展開した。また、「安全なくらしを守る」ともかかわり、地域版社会科副読本「私たちの乙訓」の発展型とした。</p> <p>活動内容 実施に関する調整、依頼、行事運営体制の構築、教材作成等</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市の水防団について 水防団の働きと水・森・山のかかわり 桂川・小畑川水防事務組合 長岡京・大山崎水防団団長 山本茂喜さん 森林整備説明 長岡京市環境政策推進課 長沼さん 体操と水資源理解のためのボールゲーム 「地球であそぼ」 アクアアース 谷口さん 何で小畑川では洪水が起こるのかな 淀川管内河川レンジャー 柳沼宣裕 (スイボーズ[水防子・水坊主・水防`S]、淀水防団団員)

28.3 活動状況



10:35 児童入場と資料の受け渡し



11:19 水防団長から長岡京の水害と水防について説明



11:40 熱心に書き込む児童



11:50 児童からの質疑のようす



1:56 アクアアースによるリフレッシュタイムと水資源の理解



2:08 レンジャーによる破堤の仕組みについての説明

28.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。 ・難しい事（内容）もあったけど、なんか長岡って、水の流りがたくさんあったってわかった。 ・小畑川って、桂川とつながってる。でも・・・、小畑川全部見たことない。桂川とつながってるって場所も。 ・また来てね。
今後の課題	九小防災学習最終章にまとめて掲載。

29. 柳沼 R・長岡第九小 防災野外学習

・平成 22 年 11 月 18 日(木)

29.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	長岡京市の暮らしと洪水のかかわり えー、昔ここで洪水があったの?! 野外学習		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー柳沼レンジャー	
開催日時	平成 22 年 11 月 18 日(木) 10:30~12:50		
参加人数	参加総数	69 名	
	学校参加者	63 名	長岡京市立第九小学校 教師 3 名、子ども 60 名
	河川レンジャー	1 名	
	講師	3 名	
	スタッフ	1 名	勝竜寺南浦地区 中村大輔氏
運営事務局	1 名		
講 師	坂本氏 多賀氏 奈左氏	古市自治会 排水機場主任操作員、元長岡京・大山崎水防団団長 勝竜寺自治会会長	
スケジュール	10:30	関係者集合・打ち合わせ	
	10:46	児童集合と活動上の諸注意・出発 橋の仕組みと流木の関係に関して現地解説	
	11:00	湧水と洗い場の歴史を語る坂本氏	
	11:15	小畑川左岸堤防に残された洪水用止水板の説明	
	11:33	小畑川の下をくぐる太田川サイホンの説明	
	11:49	昭和 10 年洪水による堤防決壊地点の確認	
	11:55	橋脚に表示された警戒水位標の確認	
	12:03	春日神社鳥居で洪水水位を再現する奈左氏	
	12:23	神足神社内で洪水体験を語る多賀氏	
	12:35	学校着・終了	
	12:50	学校打ち合わせ・終了	
実施場所 長岡京市立第九小学校 および周辺地区			

29.2 事前活動

各種資料	学校作成 しおり 新聞記事 京都新聞 洛西版 平成22年12月19日号
関係機関からの支援内容	共催:長岡京市立長岡第九小学校、長岡京・大山崎水防団、 桂川・淀川スイボーズ(水坊主、水防子、水防`S) 協力:長岡京市環境の都づくり会議 助言 長岡京市危機管理監 助言 長岡京消防署 助言 長岡京市環境政策監 助言 長岡京市環境政策推進課 助言、教材提供 長岡京市第九小学校区地域委員会 助言 京都府農林水産部 農林振興課 助言、教材提供 京都府府民生活部 危機管理・防災課 助言、教材提供、資料提供 京都府建設交通部 河川課 助言、教材提供 京都府府民生活部 府民力推進課 助言 京都府生活環境部 流域下水道事務所 助言 支援:国土交通省淀川河川事務所
レンジャーの活動内容	活動内容 実施に関する調整、依頼、行事運営体制の構築、現地下見・安全確保体制構築等 ※第九小学校とは企画、現地下見、調整等々で相互に協力し実施した。 ※安全確保の面から、南浦地区の中村氏に協力頂き、様々な事態に対応できるように準備した。

29.3 活動状況



10:46 児童集合と教員による活動上の諸注意



11:00 湧水と洗い場の歴史を語る坂本氏



11:15 小畑川左岸堤防に残された洪水止水板の説明



11:33 小畑川の下をくぐる太田川のサイホンの説明



11:49 昭和10年洪水による堤防決壊地点の確認



11:55 橋脚に表示された警戒水位標の確認



12:03 勝龍寺・春日神社鳥居で洪水水位を再現する奈佐自治会長



12:23 神足神社で洪水体験を語る多賀主任操作員

29.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りに、いろいろな仕掛けがあった。 ・また、自分たちでも、見に行きたい。 ・(昔の洪水のようになったら) ぼくら、頭までつかる。 ・(昔の人) 水、どないして飲んでたんだろ。 ・ごみ捨てたらあかん。サイフォンが詰まって、神足(地区)沈む。 ・(地域の) おっちゃん、いろいろまっとった。 ・(地域の) おっちゃんに、もういちどゆっくり話し聞きたい
今後の課題	小防災学習最終章にまとめて掲載。

30. 柳沼 R・長岡第九小 防災表現学習

・平成 22 年 11 月 24 日(水)

30.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	総合学習 防災編 「考えよう・協力しよう・人に伝えよう！」		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー 柳沼レンジャー	
開催日時	平成 22 年 11 月 24 日(水)13 時 00 分～14 時 30 分		
参加人数	参加総数	63 名	
	一般参加者	62 名	長岡京市立長岡第九小学校 教師 2 名、児童 60 名
	河川レンジャー	1 名	
スケジュール	13:00	訪問・打ち合わせ	
	13:35	授業	
	14:20	終了	
	14:30	退出	
実施場所 長岡京市立第九小学校			

30.2 事前活動

各種資料	配布教材 「表現するってどんなこと」レンジャー作成 教材 防災紙芝居、防災の本・マンガ、巻物、新聞、劇、防災音頭 DVD
関係機関からの 支援内容	共催:長岡京市立長岡第九小学校、長岡京・大山崎水防団、 桂川・淀川スイボーズ(水坊主、水防子、水防`S) 協力:長岡京市環境の都づくり会議 助言
レンジャーの活動内容	<p>総合学習防災編「考えよう・協力しよう・人に伝えよう！」</p> <p>…制作物やげきで伝えよう</p> <p>前回までに学習した内容をまとめ、最終回にさまざまな手法で表現する。そのため、制作物や劇にして表現する手法を学ぶ。</p> <p>レンジャー指導</p> <p>授業「表現するということ」(情報リテラシー、表現技術)</p> <p>授業・表現方法概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現することとはどんな事 ・情報収集法 情報を集める・見分ける ・リテラシー ・表現方法の選択 表現方法・制作物の選択 <p>制作物の表現方法例 紹介</p> <p>防災読本、防災(歴史)物語り、新聞、ゲーム、立体地図、紙芝居、立体紙芝居、劇、人形劇、ダンス、防災運動会等々 現物を見せながら説明した。</p>

30.3 意見・課題

参加者からの意見	九小防災学習最終章にまとめて掲載。
今後の課題	九小防災学習最終章にまとめて掲載。

31. 柳沼 R・環境フェア展示

・平成 22 年 11 月 28 日(日)

31.1 実施状況

<テーマ:>長岡京市農業サイト環境フェア

テーマ	河川レンジャー啓発展示		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー	柳沼レンジャー
開催日時	平成 22 年 11 月 28 日(日)9:30~15:45		
参加人数	参加総数	271 名	
	一般参加者	267 名	大人 169 名、子ども 98 名
	河川レンジャー	2 名	柳沼・仁枝レンジャー
	山崎出張所 運営事務局	1 名 1 名	畠山出張所長
講師	柳沼氏	(河川レンジャー)	
スケジュール	8:00	準備スタッフ説明	
	8:30	展示物準備	
	9:30	開会挨拶(市長・議会委員長) テープほどき	
	14:40	柳沼レンジャーによる出前講座(株式会社ヒバナさんのブース) (防災大道芸 ペレットストーブで水害防止編)	
	15:00	水没ドア体験に関する広報協力、学生向け水防災解説(関西大学 環境工学部石垣研究室さんのブース)(防災大道芸 地下街編)	
	15:45	後かたづけ・終了	
実施場所	(場所) 長岡京市中央公民館		
			

31.2 事前活動

各種資料	配付パンフレット、環境フェア会場案内、河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	<p>長岡京市 環境政策監 参加許可、広報 市報・ホームページ掲載、会場確保・設営等 環境政策推進課 展示・展開内容等助言、展示協力 危機管理監 展示・展開内容等助言</p> <p>府乙訓土木事務所 展示・展開内容等助言 府流域下水道事務所 展示・展開内容等助言 淀川河川事務所 レンジャー関係パネル、のぼり貸出、配布資料提供 株式会社ヒバナ 防災大道芸実施調整・実施 関西大学環境工学部 石垣研究室 防災大道芸実施調整・実施 出張所調整</p> <p>長岡京市環境政策監調整 参加・展示についての調整 京都府乙訓土木事務所 展示参加についての調整 府流域下水道事務所 展示参加についての調整 淀川河川事務所 関連パネル・ポスター、配布物等の借り受け 出張所 ノボリ、配布物等の借り受け</p> <p>株式会社ヒバナ 防災大道芸「ペレットストーブで水害防止編」実施調整、実施 関西大学環境工学部石垣研究室 防災大道芸 「地下街編」実施調整、実施</p>

レンジャーの活動内容	<p>(当日会場内での活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●展示内容 レンジャー制度の紹介、柳沼レンジャーの活動内容紹介。 ●ヌートリア情報募集ポスター掲示 今年は淀川流域のヌートリアの被害が拡大してきているため、ヌートリアの資料と周辺地域の白地図を準備し、来場者からヌートリア情報を収集しました。 ●地図で見る今と明治 淀川流域今昔地図 「地図で見る今と明治 淀川流域今昔地図 現在版・明治20(1887)年版 5万分の1」展示と地域情報の記入。 古地図に解説文を添付し、理解を助ける内容にした。 ●来場者からの質問対応や行事型かわみコーナーの実施 また、来場者から様々な質問があり対応しました。また、かわみにの内容となる情報提供がありました。 ●初企画 他団体と協働で防災大道芸 ヒバナさんと協働事業 今回の新しい企画は他団体との協働事業。防災を展開する場合、どうしても「物＝産業との連動も重要」というわけで、株式会社ヒバナさんのブースでペレットストーブを使った防災大道芸を実施しました。 防災大道芸は、お祭りや行事などの時、全然防災など興味のない通行人に対して大道芸を行い、まず足を止めてもらい、「3分でわかる(意外な・目からウロコな)防災」を提供していこうという内容です。 今回のヒバナさんの出展は主催者である環境政策監が「丘陵地区の森林整備のためにも森林資源の活用は非常に重要」との事で、直接ヒバナさんに依頼して出展していただいたという経緯もあり、同業他社も展示していないことから、企業を応援するというだけでなく、「森林整備による水害防止につながる機器の紹介」という方向で行いました。 それに、もともとヒバナさんはNPOが基として設立した会社であり、わたしも普段からさまざまなアドバイスをいただいている会社です。 タイトルは「なんで河川レンジャーが？ ペレットストーブで水害防止」という内容で、当該地の小畑川、小泉川流域の森林整備の写真を活用しながら、森林整備による治水力強化、豪雨時の流木問題等を取り上げ、森林資源の活用で水害を減らそうという一石四鳥を紹介する内容。 ●関西大学石垣研究室水害実験展示との協働 関西大学石垣研究室の「避難体験実験 水没ドア体験」前で体験者の募集活動協力。周辺で展示する企業さんに「水害の時にドアに水圧がかかると、すぐ開かなくなる」ということを体感していただいた。 その後、石垣研究室の学生対象に、「防災大道芸 地下街編」を実演。 撤収、借用物品返却、関連機関 礼・報告
------------	---

31.3 活動状況



・参加者に説明する柳沼レンジャー



・柳沼レンジャーによる出前講座

31.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーって何をやるんですか ・ウチ（小泉川・奥海印寺地区）の近くまでムートリア登ってます。農家の人が、「悪さされてたまらん」って言ってました。 ・第2外環（第2外環状線トンネル工事）の件でホテルが心配。 ・工事の後の水（量）の件も。 ・森と川がつながってるなんて、はじめて知ったワ。 ・ペレットストーブって、マキストーブより安心そうだし、（助成がある）京都（市民）だからちょっと、考えてみます。小畑川沿いだし。 ・せっかくの大道芸、もっといろんなところでやってみたら。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事でのかわみという展開の方法で、「かわみ」の新しい形態も考えられた。また、桂川本川とは別な市内中心部にレンジャーが出ていくことで、来場者から様々な質問や情報提供があり、今後の広報活動の可能性が考えられた。 ・今回、展示部分は文字と写真、地図の展示であったが、今後は立体的または参加型の内容で、かつ経費のかからない展示の検討により、より滞在時間や入場数、交流（対話）数の増加について検討してみたい。 ・淀川流域今昔地図に関しては意外に話題性があり、来場者も楽しんでいるようであった。「ほおー、うちのあたりはやっぱ、森やねー」とか、「このあたり、田んぼばかりやー」、「京都市内も湿地やら空き地多いなー」とさまざまな会話をされていました。また、この地図展示に関しては、少し解説文を付けると、より興味を引くことができそうである。 ・いかに日ごろから関連機関や関連する地域の人と信頼関係を築いておくかが行事成功の課題であり、今後、その点に留意したい。

(101128 添付資料)

未来の長岡京を環境考えよう 団体活動を紹介、討論(京都新聞HPより転載)

[印刷用画面を開く](#)



環境保全に取り組む団体の活動を紹介する会場で、環境をテーマにした紙芝居を楽しむ市民ら(長岡京市立中央公民館)

「長岡京市環境フェア」がこのほど、市立中央公民館(同市天神)で開かれ、リサイクルや里山再生などに取り組む団体や企業の活動が紹介されるなどした。また、市立図書館(同)では関連イベントの「市総合計画シンポジウム」があった。参加した市民らは環境保全や未来のまちづくりについて考えた。

フェアは市環境宣言を受けて、温暖化防止やエコ意識を広めようと、市環境の都づくり会議や西山森林整備推進協議会などで行う実行委員会が昨年初めて開催。今年も市民グループや企業約40団体の協力を得て実施した。

会場には、廃油を使ったせっけん作りやフードマイレージなどの講座、環境をテーマにした紙芝居があったほか、クイズコーナーなどが設けられた。また企業のブースでは電気自動車などが展示された。

フェアの取り組みの一つ「第14回市民環境フォーラム 子ども環境フェスティバル」では、長岡第四小6年の小杉朱里さんら4人が、身近な場所の温度変化や河川の汚れなど、それぞれ関心を持ったテーマの研究結果を報告した。

一方、市総合計画シンポジウムでは、環境問題やまちづくりをテーマに講演やパネル討論があった。

市と京都府立大の連携協力包括協定締結記念の事業の一環で、市民や関係者ら約100人が参加した。市は現在、第3次総合計画第3期基本計画(2011~15年度)の策定を進めている。

府立大公共政策学部の窪田好男准教授が講演し、市民に分かりやすい総合計画策定の必要性を指摘した。また、市総合計画審議会委員の小幡範雄・立命館大政策科学部教授が、基本計画の重点課題や環境問題などについて語った。

続いてパネル討論が行われ、識者やボランティア団体のリーダーらが「環境・健康・安全のまちづくり」と題して、西山など森林や農地の保護、多世代交流などの重要性などについて意見を交わした。

【2010年11月30日 10時26分】

32. 柳沼 R・長岡第九小 防災発表会

・平成 22 年 12 月 6 日(月)

32.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	長岡京市の暮らしと洪水のかかわり えー、昔ここで洪水があったの?!		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー 柳沼レンジャー	
開催日時	平成 22 年 12 月 6 日(月)10:30~12:40		
参加人数	参加総数	67 名	
	一般参加者	63 名	長岡京市第九小学校 教師 3 名、児童 60 名
	河川レンジャー	1 名	
	スタッフ	1 名	アクアアース谷口氏
	出張所 運営事務局	1 名 1 名	山崎出張所林係長
スケジュール	10:30	訪問	
	10:38	事前のリハーサル	
	10:49	レンジャーと出張所の紹介	
	10:48	担任の先生による指導	
	11:01	学習・研究成果の発表	
	10:54	発表のようす	
	11:41	発表のようす	
	10:59	発表に対する質疑応答	
	12:06	レンジャーの講評	
	12:20	終了	
	12:40	退出	
実施場所 長岡京市立第九小学校			

32.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの 支援内容	共催:長岡京市立長岡第九小学校、長岡京・大山崎水防団、 桂川・淀川スイボーズ(水坊主、水防子、水防`S) 協力:長岡京市環境の都づくり会議 助言
レンジャーの活動内容	総合学習防災編「考えよう・協力しよう・人に伝えよう!」 …制作物やげきで伝えよう 前回までの体験者のお話の授業や水害の起こる仕組みの授業、またまち歩きをもとに、自分たちで、地域の水害や水利用や付き合い方を制作物や劇にして班ごとに発表。 また、自宅等で家族や兄弟姉妹、地域の人々に見てもらおう効果も期待。 発表会 制作物等に関する班ごとの発表。 レンジャー講評 各班 5 分×1 組 6 班+コメント=45 分

32.3 活動状況



10:38 事前のリハーサル



10:48 担任の先生による指導



担任の先生による指導



11:01 自分たちで調査し撮影した資料の発表



小畑川・犬川合流点の大型地図



地域を舞台とした水と防災の劇 シートは水をあらわしている



「地いきの水害新聞」



11:41 水の紙芝居



10:59 発表に対する質疑応答



12:06 レンジャーの講評

32.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地理と歴史と理科（水の動き方）を勉強した。社会も理科も好き、もっと知りたい！。
今後の課題	<p>今回、数年来の教育機関での総合学習としての水害学習の課題と改善点がある程度明確になってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習としての水害学習のカリキュラム・実施マニュアル作成の必要と教育機関への導入の促進。 <p>今回、学校からの依頼で行事を行ったが、準備期間が短く、十分な授業運営の組み立てが難しかった。今後教育現場で実施するために学校の先生方と合同でカリキュラムを研究し、実施する体制を構築する必要がある。その場合、「新年度から年間予定に組み込むだけの打ち合わせのできる体制」が必要となる。</p> <p>ただし、そのようなことは時間に余裕がある場合・人でないとできないため、淀川河川事務所が「地域自身が動いてもらうためにも、防災に地域の歴史と文化と災害の記憶を活かす」という意思を持ち、本気になって防災教育を推進する体制の構築が必要である。</p> <p>防災教育推進は地域や学校で行えという意見もあるが、乙訓地域だと採用や人事の関係で、各学校で教員数の2人程度のみが地域出身の教員である。その中には理科や算数や音楽の教員もいるわけで、校区出身で社会や地理の先生で地域の地理や水を知っている先生は皆無に近い。</p> <p>また、今回の水害学習の内容は「どこの川に行っても使える内容」ではない。校区ごとの事例を丹念に集めて作った「特注品」である。西山、小畑川、桂川、淀川、大阪湾の関連性を校区の施設や出来事に根ざして作成してある。そんな「本気な内容」を見せないと、子供たちもやはり乗ってこない。</p> <p>レンジャー個人の技量や蓄積に頼った場合、レンジャーが引退した場合なかなか残らない。参加者が面白がって楽しみながら学ぶ仕掛けや体制をいかにつくるかが今後の課題であろう。</p> <p>総合学習を本当の「総合学習」にし、子供たちや地域に対して楽しく、わかりやすく伝える方法の構築が求められている。</p>

33. 柳沼 R・防災大道芸

・平成22年12月12日(日)

33.1 実施状況

<テーマ：防災に関する地域講座>

テーマ	防災大道芸		
担当	桂川出張所管内	柳沼レンジャー	
開催日時	平成22年12月12日(日) 12:30~13:10		
参加人数	参加総数	12名	
	参加者 河川レンジャー 協力スタッフ 運営事務局	9名 1名 1名 1名	(京都環境フェスティバル2010 来場者) (柳沼R) (西山森林整備推進協議会)
スケジュール	12:30	集合(京都環境フェス出展者:西山森林整備推進協議会 出展ブース) ・準備、打合せ	
	12:35	講座開始 ・降雨と山、山と河川のつながり ・防災にも関係する森林整備の重要性について ・間伐材の活用と環境保全について 他	
	13:00	講座終了・片付け	
	13:10	スタッフ解散	
実施場所			

33.2 活動状況



活動全景



防災にも関係する森林整備の重要性について

34. 仁枝 R・リバーウォーク桂川

・平成 22 年 4 月 25 日(日)

34.1 実施状況

<テーマ：川の旅「リバーウォーク桂川」>

テーマ	川の旅「リバーウォーク桂川」春の桂川をハイキング		
担当	山崎出張所管内	河川レンジャー 仁枝レンジャー	
開催日時	平成 22 年 4 月 25 日(日) 9:30~15:30		
参加人数	参加総数	37 名	
	一般参加者	31 名	(大人 29 名、小人 2 名)
	河川レンジャー	2 名	仁枝 R, 田子 R
	スタッフ	3 名	淀納所桂川愛護会 乙訓桂川愛護会
	運営事務局	1 名	
講師	田子 稔(草花や野鳥の説明) 竹内 氏(河川利用と生きもの説明)		桂川管内河川レンジャー 乙訓桂川愛護会
スケジュール	<p>9:30 宮前橋左岸側元児童公園広場にてスタッフ集合・受付開始</p> <p>10:00 仁枝レンジャーより開会の挨拶と行程説明や協力団体の紹介あり。リバー・ウォークの注意事項を説明し、いよいよ出発。</p> <p>10:20 桂川宮前橋右岸～桂川河川敷公園～天王山大橋～左岸宮前橋へ。途中、春の草花や野鳥観察について田子レンジャーより解説あり。乙訓桂川愛護会竹内氏より河川利用と桂川に棲む魚や桂川の景観についての説明があった。</p> <p>12:10 桂川河川敷公園到着 昼食。</p> <p>13:20 昼から更に下流の桂川河川敷公園へ向けて出発。</p> <p>14:30 天王山大橋側道から桂川左岸に移動し西山の山並や引堤による対岸の新しい町並みを眺めてリバー・ウォークも最終コーナー。</p> <p>15:25 宮前橋到着 仁枝レンジャーの挨拶後、解散</p>		
実施場所 宮前橋から 桂川河川敷公園まで			

34.2 事前活動

各種資料	現地ウォーキングコース 次回桂川リバーウォーク告知チラシ
関係機関からの支援内容	○淀納所桂川愛護会 ・スタッフ協力 ○淀川河川事務所 配布資料コピー ・広報用配布チラシ (A4) ・自治会回覧用チラシ (B4) ・掲示用ポスター (A3) ・当日のリバー・ウォークコース図 (A3)
レンジャーの活動内容	○実施計画立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 ○活動案内 活動案内書の作成、 活動案内書の配布活動 ・各自治会への回覧、ポスター掲示、 ・町内各種団体及び協力団体へのチラシ配布 ・地域の小中学校・高校へのポスター及びチラシ の配布 活動案内書の情報掲示 ・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 ○必要物品の準備 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供依頼 ○関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告等 ○活動の実施 配布資料の事前準備、会場設営、開会準備、最終スタッフ打合せ 開会、閉会の挨拶、司会進行、実施説明、参加者の交流と安全管理 配布資料

34.3 活動状況



田子レンジャーより春に見られる草花のお話



桂川で見られる魚についての解説

34.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・桂川の河川敷を歩き、川渡りなど緊張する場所もあつたが、沢山の種類の草花や野鳥の姿になんと自然が豊かなで感激しました。それぞれの専門のかたがたの説明で、生きものたちの名前などを知ることが出来大変よかつた。ただ橋の下などに捨てられているゴミはいけません。時間があればクリーン活動に参加したい。 ・道路が舗装され、橋がつけられ、便利になると自然が失うことになる。矛盾しているが生活の中では仕方がないのか・・・！
今後の課題	特になし

35. 仁枝 R・鯉海道まつり防災体験

・平成 22 年 5 月 16 日(日)

35.1 実施状況

<テーマ：>2010-水害に備える

テーマ	水防工法に学ぶ防災体験 Part1 in 横大路（横大路鯉海道まつり会場にて）		
担当	山崎出張所管内	仁枝レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 16 日（日） 9:00～16:30		
参加人数	参加総数	52 名	※横大路鯉海道まつりは約 2500 人の参加があった
	一般参加者 河川レンジャー 講師（淀川資料室：松永 氏、福井 氏） 協力スタッフ 淀川河川事務所 運営事務局	40 名 1 名 2 名 5 名 3 名 1 名	[参加協力団体] 摂南大学 25 名 淀納所桂川愛護会 乙訓桂川愛護会 伏見の淡水魚を守る会
スケジュール	9:00	スタッフ集合（桂川左岸 羽東師橋東詰付近「横大路桂川・草津みなとフェスティバル」会場内）	
	11:00	参加受付 パネル展示	
	12:50	実施場所へ移動	
	13:00	活動開始 ・レンジャー挨拶、講師紹介、諸注意 ・講師による水防工法について説明 ・講師、レンジャー、スタッフによる土のうの造り方説明・指導 ・土のう造りを実施 ・積み土のう工を実施	
	14:20	活動終了 ・水防器具片付け（水防倉庫へ）	
	15:00	イベントステージにて来場者へ防災啓発	
	16:00	「横大路桂川・草津みなとフェスティバル」終了と共にパネル展示終了・片付け	
	16:30	解散	
実施場所			

35.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○淀川資料館 講師派遣協力 ○納所向島水防団 スタッフ協力 水防用具借用 ○淀納所桂川愛護会 スタッフ協力 ○乙訓桂川愛護会 スタッフ協力 ○伏見の淡水魚を守る会 スタッフ協力 ○淀川河川事務所 展示パネル借用及び配布資料の提供 工法材料借用（土のう袋、まさ土、竹、ブルーシート、手袋） 災害対策車両の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・本部車 ・照明車 ・衛星通信車
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 ○活動案内 活動案内書の作成、 活動案内書の配布活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会への回覧、ポスター掲示、 ・町内各種団体及び協力団体へのチラシ配布 ・地域の小中学校・高校へのポスター及びチラシの配布 活動案内書の情報掲示 <ul style="list-style-type: none"> ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 ○必要物品の準備 展示パネル、配布資料の貸与依頼 ○関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告等 実行委員会参加、企画打合せ、調整 ○活動の実施 会場設営、開会準備、 最終スタッフ打合せ 開会、閉会の挨拶 司会進行、実施説明 参加者の交流と安全管理 イベントステージにて防災啓発 土のう等、会場整理 会場全体のクリーンアップ参加

35.3 活動状況



「横大路桂川・草津みなとフェスティバル」会場全景



受付テント内でのパネル展示



土のう造り



ステージにて防災講義

35.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

36. 仁枝 R・納所防災体験

・平成 22 年 5 月 22 日(土)

36.1 実施状況

<テーマ：>2010-水害に備える

テーマ	水防工法に学ぶ防災体験 Part3 in 納所		
担当	山崎出張所管内	仁枝レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 22 日 (土) 8:30~15:00		
参加人数	参加総数	47 名	
	一般参加者 河川レンジャー 講師 (淀川資料室: 松永 氏) 協力スタッフ 韓国テレビ局取材 淀川河川事務所 運営事務局	33 名 2 名 1 名 6 名 3 名 1 名 1 名	仁枝レンジャー、中川ゆんレンジャー [参加協力団体] 向島・納所水防団 3 名、淀納所桂川愛護会 3 名
スケジュール	8:30	スタッフ集合 (桂川左岸 宮前橋 200m 上流付近) ・受付準備、水防器具準備等	
	9:30 9:45	参加受付 活動開始 ・レンジャー挨拶、関係者・講師紹介、諸注意 ・講師による水防工法について説明 ・講師、レンジャー、スタッフによる土のうの造り方説明・指導 ・土のう造りを実施 ・積み土のう工を実施	
	10:50	休憩	
	11:00	講師・スタッフによる「築き廻し工」を実施	
	11:20	完成した「築き廻し工」について解説 活動終了 ・水防器具片付け (水防倉庫へ)	
	12:00	解散	
	13:00	土のう等会場整理作業	
	15:00	作業終了	
実施場所			

36.2 事前活動

各種資料	当日の進行予定表、水防一口メモ、水防工法について（解説・図解）2種
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○淀川資料館：講師協力 ○納所向島水防団：スタッフ協力、水防用具借用 ○淀納所桂川愛護会：スタッフ協力 ○淀川河川事務所：各種資料提供及びコピー、工法材料借用（土のう袋、まさ土、竹、ブルーシート、手袋）
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画立案：実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 ○活動案内 <ul style="list-style-type: none"> 活動案内書の作成、 活動案内書の配布活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会への回覧、ポスター掲示、 ・町内各種団体及び協力団体へのチラシ配布 ・地域の小中学校・高校へのポスター及びチラシの配布 活動案内書の情報掲示 <ul style="list-style-type: none"> ・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 ○必要物品の準備 <ul style="list-style-type: none"> 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供依頼 ○関係機関との調整 <ul style="list-style-type: none"> 事前打合せ、中間打合せ、完了報告等 ○活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 配布資料の事前準備、会場設営、開会準備、最終スタッフ打合せ 開会、閉会の挨拶、司会進行、実施説明、参加者の交流と安全管理 配布資料、土のう等、会場整理

36.3 活動状況



講師による水害と水防のお話
（水防工法：シート張り工をバックに）



講師・スタッフ指導の下、土のう造り



積み土のう工

36.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・参加して良かった。住民を対象としたこのような防災体験は必要である。もつと若い人の参加を期待したい。・住民が常に関心をもつこと、その上、川に心を配り、常より川を大事にする心を持つことが必要と感じた。・いざ水が出た時、堤防が切れた時（恐らくないと思う）、土、袋等、土のう造りの材料はどうして用意するのか・・・何時も思っている。 (その他) <ul style="list-style-type: none">・桂川を流れる水が、川の名前の様に、より自然に近い水質になる様に願っています。・家族づれで、ゆつくり遊べる場所が近くに無いので、あったらいいなあ・・・と思っています。・川が美しく、生きもの（植物含む）がすみつき易い所が段々無くなるので心配です。・以前に比べて美しくなって来ていますが、まだまだです。一人一人の協力が必要です。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・体力のある若い人たちの参加が望まれる。

37. 仁枝 R・水害特別講座

・平成 22 年 7 月 4 日(日)

37.1 実施状況

<テーマ：特別講座「大雨!増水!!そのとき、あなたは?」>

テーマ	特別講座「大雨!増水!!そのとき、あなたは?」		
担当	山崎出張所管内	河川レンジャー仁枝ジャー	
開催日時	平成 22 年 7 月 4 日 (日) 14:00~15:40		
参加人数	参加総数	30 名	
	一般参加者	24 名	
	河川レンジャー	1 名	仁枝レンジャー
	講師	1 名	栢永氏(淀川資料館)
	資料室 事務局	3 名 1 名	
講師	栢永氏 (元淀川左岸水防事務組合収入役)		
スケジュール	13:50	スタッフ集合 準備、ミーティング、参加者受付	
	14:00	開会 淀川資料館栢永氏による講演「水害のこわさ」 1 淀川の歴史から 2 昭和 28 年台風 18 号 3 明治、大正の洪水 4 ジェーン台風と昭和の洪水	
	14:35	淀川河川レンジャー 仁枝洋氏「台風 23 号桂川の記憶」 1 水防団に取り組んで 2 河川レンジャーに取り組んで 3 台風 23 号の記憶 ゴミ災害は知られていない 4 これからの水防災 ※質疑応答と館内解説を实地	
	15:40	閉会	
実施場所			

37.2 事前活動

各種資料	当日進行シナリオ(レンジャー作成) 淀の流れ(淀川河川事務所機関誌)
関係機関からの支援内容	○淀川河川事務所 配布資料コピー ・ 広報用配布チラシ (A4)

レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画立案 実施日、実施内容の検討 ○活動案内 活動案内書の配布活動 FMラジオ出演によるPR ○必要物品の準備 配布資料の作成、各関係機関への資料提供依頼 ○関係機関との調整 事前打合せ ○活動の実施 講演「台風23号 桂川の記憶」ゴミ災害は知られていない 参加者との交流
------------	---

37.3 活動状況



淀川資料館裕永氏による「水害のこわさ」の講座、説明



昭和28年の台風13号の災害の解説



質疑応答、館内の解説

37.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

38. 仁枝 R・リバー・ウオーク横大路

・平成 22 年 10 月 11 日(日)

38.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	マイリバー・ウオーク Part4in 横大路		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー仁枝レンジャー	
開催日時	平成 22 年 10 月 11 日(日)10:00~16:00		
参加人数	参加総数	66 名	
	一般参加者	52 名	大人 52 名
	河川レンジャー	1 名	仁枝 R
	来賓	1 名	中川一雄氏(横大路連合自治協議会会長)
	講師	4 名	講師欄による
	スタッフ	8 名	
	レンジャー活動演習参加者	1 名	森元秋廣氏
	自治体	1 名	京都市消防局
	出張所 運営事務局	1 名 1 名	淀川河川事務所山崎出張所長
講 師	町田善軌氏 畠山光彦氏 坂口芳治氏 西野 寛氏	(京都市消防局防災危機管理担当課長) (山崎出張所長) (草津町在住ガイド) (草津町在住ガイド)	
スケジュール	10:21 12:57 13:21 13:35 13:05 13:52 15:35 15:59	参加者のようすと本活動の趣旨説明 講師先頭にウオーキング開始(クリーンアップ実施) クリーンアップのようす 過去の洪水の痕跡をしめすロープ 飛鳥田神社での講師説明 堤防に残るエノキとエノキ街道の講師説明 ワークショップのようす レンジャーの総評	
実施場所	<p style="text-align: center;">横大路コース</p>		

38.2 事前活動

各種資料	自治会回覧用チラシ(A4)・一般配布用チラシ(A4)・掲示板用掲示ポスター(A3)・進行表(A4)・アンケート用紙(A4)・リバーウォークコース図(A4)・ポイントチェック図(A3)・思いつきメモ(A4)・次回淀開催チラシ(A4)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○淀納所桂川愛護会スタッフ協力◇安全管理 ○乙訓桂川愛護会スタッフ協力◇安全管理 ○伏見の淡水魚を守る会スタッフ協力◇伏見の淡水魚展示 ○京都市消防局◇京都市防災マップ水災害編―伏見区版資料提供 ○淀川資料館・パネル展示用淀川及び桂川の河川資料・災害パネル借用 <ul style="list-style-type: none"> ○淀川河川事務所◇資料のコピー ◇レンジャーのぼり・レンジャー横断幕借用 ◇クリーンアップ用具一式借用 ◇救急用具(携帯用借用) ◇ポストイットカード、筆記具等の事務消耗品借用
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画立案：実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 ○活動案内 <ul style="list-style-type: none"> 活動案内書の作成、 活動案内書の配布活動 ・各自治会への回覧、ポスター掲示、 ・町内各種団体及び協力団体へのチラシ配布 活動案内書の情報掲示 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 ○必要物品の準備 <ul style="list-style-type: none"> 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供依頼 ○関係機関との調整：事前打合せ、中間打合せ、完了報告等 ○活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 配布資料の事前準備、会場設営、開会準備、最終スタッフ打合せ、開会、閉会の挨拶、司会進行、実施説明、参加者の交流と安全管理、配布資料、土のう等、会場整理

38.3 活動状況



13:21 クリーンアップのようす



13:35 過去の洪水の痕跡をしめすロープ



15:35 ワークショップのようす



15:59 レンジャの総評

38.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>○アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧国道沿いに面している企業も自社の玄関前の美化に努めて頂きたい、そうすれば少しでもゴミが減らせるのでは？堤防の上に山並みの説明板（例えば山の名前とか高さとか）あればいいのでは。 ・サイクリングロードで休憩場所が一か所も設置されていない。住民のいこいの場が一か所もなく、河川敷（道）は犬の散歩する人にしか利用されていないのでは。公園等がないためか・・・。 ・堤防のエノキを残して欲しい。 ・堤防の草が長くサイクリングコースの道幅がせまく自転車との交差の時、危険であるので年2回と言わず回数を増加してほしい。 ・サイクリングや河川敷でのスポーツ風景をよく見かたが、散策等での休める場所が少ないように感じた。 ・前回と同じコースであったが違うコースも考えてみたらどうか。女性にとって、トイレのないのが困る。 ・淀川河川事務所の上から目線の態度が気になった。個人によって相当差あるように感じている（何人かの所長の発言を聞いての感想） <p>○思いつきメモより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史深い横大路だということ、知らなかったことが沢山あって新鮮でした ・川の中にあるらしい岩（残念石）水量が多くて見られなかったが初めてその岩のことを聞いて、夏場か冬場の水の少ない時に見たいと思う。又、河川敷に公園やトイレがほしい。鳥の害、作物を食べられる。数少なくなったエノキの管理状況が悪い、樹型を整えてせん定をしてはどうか。横大路は古い民家が無造作にたたずんでいて、とにかく静かな町か、村かの集落だった、説明が非常に良かった。 ・府道線の歩道にはゴミが多くあった。 ・飛鳥田神社前の小川、水路に小さな魚がいます、川をきれいにすればもっと多くの種類が来ると思います。 ・幹線道路には車からのポイ捨てと思われるタバコのスイガラガが多く見られた ・桂川沿いの歴史と旧千本通りの歴史には貴重な史跡が多数残されているのにおどろいた。この事を地域の子供たちにもっと伝えられることが出来れば、子供達を通じてその保護者の方々にも伝わって行き、少しでも地域との連帯感を持つ事が大切だと感じてもらえると思う。又、この桂川の景観のみごとな山、河木草がすぐ間近な風景と遠くに見える山々とのコラボレーション、これを広めて横大路と言う地域感を変えて行くことが発展につながると思う、府道沿いの飛鳥田神社の保存も地域一体となって行ってほしいと希望します。 ・府道用水路沿いの雑木、雑草の除去を望む。 ・羽束橋から桂川、鴨川合流点を見た景色が広く開けていて、川の流れがよくわかり、水の色が特によかった。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平安の昔から人の往来、食糧や物資の輸送に利用された「横大路草津みなと」、往時のみなとのにぎわいを配慮した河川整備と横大路の歴史や存在する史跡など桂川の歴史を伝え、守り、育てる一つの拠点としての河川整備と河川利用が望まれる。 ・マイ・リバー・ウォーク in 横大路のとりまとめ（マップ etc）。

39. 仁枝 R・リバー・ウォーク 淀

・平成 22 年 10 月 17 日(日)

39.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	マイリバー・ウォーク Part2in 淀		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー仁枝レンジャー	
開催日時	平成 22 年 10 月 17 日(日)10:00~16:00		
参加人数	参加総数	31 名	
	一般参加者	18 名	大人 13 名、子ども 5 名
	河川レンジャー	1 名	仁枝 R
	来賓	1 名	太田 稔氏 (淀連合自治会会長)
	講師	4 名	
	スタッフ	5 名	
	自治体	1 名	京都市消防局
	出張所 運営事務局	1 名 1 名	畠山出張所長
講 師	大西勝重氏 田中光雄氏 名桐幸男氏 尾関 忠氏	(京都市消防局防災危機管理担当係長) (淀川河川事務所管理課長) (淀新町在住ガイド) (淀下津町在住ガイド)	
スケジュール	10:27	参加者のようすとレンジャー主旨の説明	
	10:06	水槽展示を見る参加者の親子とスタッフの説明	
	13:10	ウォーキングの開始 (前日清掃のためクリーンアップ中止)	
	13:34	チェックポイント記入表の作成	
	13:44	淀水路にて地元愛護会の講師の説明	
	14:47	宮前橋を望む桂川左岸から	
	15:26	ワークショップのようす	
	16:16	レンジャーの総評と閉会あいさつ	
実施場所			

39.2 事前活動

各種資料	自治会回覧用チラシ(A4)・一般配布用チラシ(A4)・掲示板用掲示ポスター(A3)・進行表(A4)・アンケート用紙(A4)・リバーウォークコース図(A4)・ポイントチェック図(A3)・思いつきメモ(A4)・次回淀開催チラシ(A4)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○淀納所桂川愛護会スタッフ協力◇安全管理 ○伏見の淡水魚を守る会スタッフ協力◇伏見の淡水魚展示 ○京都市消防局◇京都市防災マップ水災害編一伏見区版資料提供 ○淀川資料館・パネル展示用淀川及び桂川の河川資料・災害パネル借用 <ul style="list-style-type: none"> ○淀川河川事務所：資料のコピー ◇レンジャーのぼり・レンジャー横断幕借用 ◇クリーンアップ用具一式借用 ◇救急用具（携帯用借用） ◇ポストイットカード、筆記具等の事務消耗品借用
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画立案：実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 ○活動案内 <ul style="list-style-type: none"> 活動案内書の作成、 活動案内書の配布活動 ・各自治会への回覧、ポスター掲示、 ・町内各種団体及び協力団体へのチラシ配布 活動案内書の情報掲示 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 ○必要物品の準備 <ul style="list-style-type: none"> 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供依頼 ○関係機関との調整 <ul style="list-style-type: none"> 事前打合せ、中間打合せ、完了報告等 ○活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 配布資料の事前準備 会場設営、開会準備、最終スタッフ打合せ 開会、閉会の挨拶 司会進行、実施説明 参加者の交流と安全管理 配布資料 <p style="text-align: right;">宇治川右岸比叡山を望む集合写真</p>

39.3 活動状況



13:44 淀水路にて地元愛護会の講師の説明



14:47 宮前橋を望む桂川左岸から



15:26 ワークショップのようす



16:16 レンジャーの総評と閉会あいさつ

39.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>○アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でもが歩きたくなる、緑が有って花が咲いて、鳥が鳴いて、虫たちがいて、水が美しく、空気のおいしい、そして安全で、くつろげる素敵なところをめざして下さい。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会行事とバッティングしない開催を考える。 ・伏見の淡水魚を守る会の設立にともなう活動協力。

40. 酒井・辻川・上田 R・河川行政研修会

・平成 22 年 7 月 12 日(月)

40.1 実施状況

テーマ	河川レンジャー研修：河川行政研修会		
担当	三出張所管内	河川レンジャー酒井・辻川・上田レンジャー	
開催日時	平成 22 年 7 月 12 日 (月) 9:00～17:00		
参加人数	参加総数	26 名	
	河川レンジャー	18 名	辻川、池宮、三輪、崎谷、上田、立川、荘司、瀬野、山口、中島、酒井、中川ゆ、谷岡、坂本、中村、田子、仁枝、山村各レンジャー
	講師 成宮調査課長	1 名	
	河川事務所 岡田係長	1 名	
	運営事務局	6 名	西野、早瀬、松岡、橋詰、篠平、田井中
講師	成宮氏	(淀川河川事務所調査課)	
スケジュール	9:06	酒井 R のあいさつ	
	9:06	会場全景と出席者のようす	
	9:09	上田講座研修実行委員長のあいさつ	
	9:11	講師成宮課長の紹介	
	13:12	バスで移動開始	
	13:40	牧野わんどでの説明のようす	
	13:41	参加者集合写真	
	14:18	中島 R：芥川一号井堰で魚道の設置について	
	14:21	芥川全景：如是川決壊の歴史について	
	14:39	三島江切り下げ区域の全景	
	14:45	酒井 R：切り下げ区域について質疑応答	
	15:23	上田 R・立川 R：点野わんどでの活動について	
	15:34	山口 R：庭窪わんどの外来種除去について	
	16:13	成宮課長：赤川わんどの変遷について	
	16:41	毛馬出張所での休憩	
	17:00	辻川 R：西中島での野犬対策水路について話の後、閉会のあいさつ	
実施場所	中央流域 C 会議室～淀川現地： 牧野水制工～芥川魚道改良～点野～庭窪～赤川地区ワンド整備～淀川大堰～西中島～阪急十三駅		

40.2 事前活動

各種資料	当日スケジュール、現地調査資料 淀川水系河川整備基本方針 淀川河川事務所各種パンフ ねや川水辺クラブからの告知 「木津川で魚をとろう」告知 「おいでよ！夏休み洪水体験」告知 「残したい草花たち」告知 「里山の風にふれませんか」パンフ 淀川かわあるき
関係機関からの支援内容	講師：淀川河川事務所調査課成宮課長
レンジャーの活動内容	スケジュール記載通り

40.3 活動状況



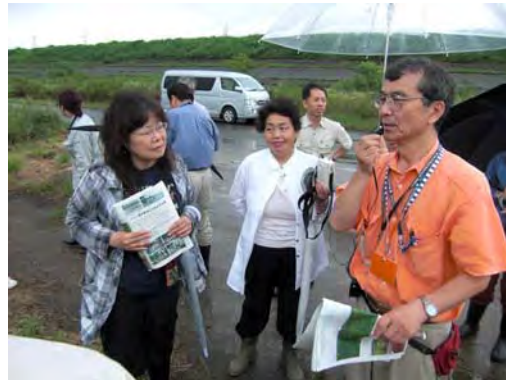
13:40 成宮課長：牧野わんどでの説明のようす



14:21 芥川全景：如是川決壊の歴史について



14:39 三島江切り下げ区域の全景



14:45 酒井 R：切り下げ区域について質疑応答

40.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>淀川水系河川整備計画の説明を受け、淀川における河川環境、治水・防災、利水、利用、維持管理の、現状及び問題・課題並びに対応策について、レンジャーと講師の間で意見交換が行われました。</p> <p>特に治水・防災上の課題、人と川のつながり、水辺や河原の再生について意見がありました。</p>
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の研修では河川整備計画の全体を把握する目的で実施したが、個別のテーマについて今後実施するかどうか。 2. 研修の成果を個々のレンジャー活動にどう活かしていくか。

41. 仁枝・谷岡・中島 R・外来生物研修会

・平成 22 年 9 月 7 日(火)

41.1 実施状況

<テーマ：河川レンジャー研修「外来生物研修会」>

テ ー マ	河川レンジャー研修「外来生物研修会」 全国的に課題となっている外来生物の問題。レンジャーも活動の中ですでに取り組みでいたり、今後の取組みを検討したりしている。 ・河川事務所の「地域と行政による協働」の取り組み事例から学ぶ、 （平成 16 年「嵐山地区水草対策研究会」を発足。） ・レンジャーの取組みを発表、課題や解決方法を紹介、考える。	
担 当	山崎、高槻出張所管内	仁枝・谷岡・中島 レンジャー
開催日時	平成 22 年 9 月 7 日(火)8:30～17:00	
参加人数	参加総数	22 名
	河川レンジャー	12 名
	講師	1 名
	河川事務所 運営事務局	3 名 6 名
		現地 8 名、池宮、三輪、崎谷、中川ゆり子、田子、中島、仁枝、谷岡 講義 12 名、上記に山本、酒井、山村、福井各レンジャー 室内講義 芝田監督官、日朝専門員、岡田係長 現地 5 名
講 師	田村くに江さん	淀川河川事務所 河川環境課 専門職
スケジュール	8:30 8:50 9:00 9:15 9:32 11:00 14:30 17:10	活動場所は桂川、嵐山の渡月橋、一の井堰上流。 左岸の船着場付近に担当レンジャー、河川事務所、事務局集合 参加レンジャー集合 道具を車から運搬、準備（胴長、ライフジャケットを着用） 除去作業の説明、体調の確認 除去作業を開始。対象外来水草はオオカナダモ、コカナダモ。 ・地元の方々や嵯峨中学生と共同で行った。 ・作業は、外来の水草を採り、舟へ引き揚げるのが主。 ・観察 在来種クロモなどとの違い、繁茂している場所と状況、除去前後の環境の変化、魚などの生き物を観察。 除去作業を終了、回収した水草の観察、かたづけ、着替え。 移動と昼食 室内講義①田村講師 事務所の取組み、外来水草の影響と対策、 ②レンジャーの取組み事例の紹介 中島、福井ほか。 質疑応答、意見を交換 終了、かたづけ
実施場所	<p>午前：水草除去は、桂川、嵐山、渡月橋、一の井堰の上流</p> <p>午後の室内講義は、上流域流域センター 2F 会議室（伏見出張所構内）</p> 	

41.2 事前活動

各種資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 田村講師資料 2. レンジャー発表資料 3. 今後の活動チラシ
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所からの支援 <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係団体との調整 2. 用具の貸与、運搬、講師の派遣、会場、資料の提供など
レンジャーの活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンジャー実行委員会で、研修のテーマ「外来生物」を決定。 2. 担当レンジャーで、企画、準備、運営。 3. 淀川河川事務所河川環境課と打合せ。 4. 用具の用意、貸与を受ける。 5. 報告の作成

41.3 活動状況



9:32 水草の除去、回収



9:36 オオカナダモなどの観察



14:52 室内講義



16:45 質疑応答

41.4 意見・課題

<p>参加者からの意見 (敬称略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・池宮 有名な観光地の川に大量の水草が繁茂している事に驚いた。駆除や環境の改善への取り組みの大切さを感じた。改善していくかについては非常に難しい問題があることも理解できた。総合的な取り組みが重要だと感じた。 ・崎谷 現場：参加者が多様なことが成果に加え、対外的インパクトも有り非常に意義がある事業だと思う。自身の活動にも役立つ良い機会。 講義：田村さんの話は参考になった。自然に人の手を加えすぎることが自然を変化させてしまうのでは？ ・酒井 ジャンボタニシを食用として再認識できないか。 特定外来種がなぜそこに生息することに問題があるか、整理が必要。 多種多様な情報が入手できた。 ・田子 長い間、桂川の生物を観察していて年々、外来生物が増加しているのを感じていました。繁殖力の強い外来種といえども生態系が安定していれば入り込むことが難しいといわれていますので河川改修においてはその点充分注意してほしいと思っています。 ・谷岡 嵐山で水草を採りながら水の良さ、風景の美しさを堪能しました。他のレンジャーの活動について情報交換ができたことが良かった。 ・中島 地元の方のお話によると、かつては二枚貝もボテジャコもたくさんいたとのこと、でした。水草を採った後、貝を探してみました。 講義ではいろいろと示唆を頂き、田村講師、皆さまに学びました。 ・中川ゆり子 流れ藻を止める網の藻を採取、今取ったかと思うと流れの中に又、多くの藻が引っかかっており楽しくもあり忙しい時間であったが、休憩が疲れをとってくれました。講師やレンジャーの取り組みに多くを学びました。 ・福井 嵐山の取り組みを知り地元のジャンボタニシ駆除の取り組みにおいても組織を作っていく必要を実感しました。レンジャー活動で、駆除だけではなく学習、遊びなど楽しいことも入れて仕切りなおしたとかがえました。 ヌートリア、木津町の鹿川に餌付けをされているそう。留意したい。 ・仁枝 机上の知識にだけでなく現地での体験はレンジャー活動にとってとても有益な研修であった。今後も現地体験型研修をより多く実施してほしい。 担当地域でもアレチウリが繁茂、住民とともに活動したいと考える。 ・山本 除去した水草の利用方法を考えてはどうか。外来魚、ジャンボタニシを食べるなどの活用は？外来種との上手な付き合い方を考えても良いのでは？在来のためかもあることを知ったのは良かった。 ・山村 講義で外来種問題の概略が理解できた。今後役に立つと思う。 人が川に近づかないことから始まっていると思う、大いに人を近づかせること、レンジャーの役割。 草刈予算の減少は、外来種問題への対策においても認められないと思う。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャー研修について 活動の課題、問題となっていることを、これからもテーマにしてほしいとの声が寄せられた。 ・外来生物問題 住民とレンジャー、河川管理者で、問題意識をどう共有化し、共に取り組むか。 例えば、ヌートリアに餌付けする人もあれば、駆除したい人もいる。

42. 河川 R・京都環境フェスティバル

・平成 22 年 12 月 11・12 日

42.1 実施状況

<テーマ:みんなで守ろう KYO の環境・地球の未来>

テ ー マ	京都環境フェスティバル 2010		
担 当	京都府域・大阪府域河川レンジャー		
開催日時	平成 22 年 12 月 11・12 日(土・日) 9:00~17:00		
参加人数	参加総数(2日間)	1014名	
	出展ブース参加者	967名	1日目…447名、2日目…520名 辻川、池宮、上田、中川ゆ、坂本、中村、田子、柳沼、仁枝、山村、福井、田中(新)、山田(新)各レンジャー 久乗氏ほか
	河川レンジャー	13名	
	協力スタッフ	3名	
	淀川河川事務所・出張所	20名	
運営事務局	8名		
スケジュール	9:00	スタッフ集合(京都パルスプラザ出展ブース内) 準備作業(伏見の魚展示など)	
	10:00	開会 淀川管内河川レンジャー紹介パネル・解説 淀川の100年の変遷がわかるパネル展示・解説 京都府域の淡水魚等の展示・解説 葦笛、ドングリ、葦た°ストリー、クルミのフ°ーチ工作体験等	
	16:00	閉会 片付け	
	17:00	終了 スタッフ解散	
実施場所 京都パルスプラザ			

42.2 活動状況



伏見の魚展示



レンジャーによる淡水魚の解説



工作体験コーナー



各レンジャーも協力頂きました。

